

令和6年度 離島・過疎地域づくり
DX 促進による移住定住 PR 等事業

実施報告書
(公開版)

令和7年3月

離島・過疎地域 DX 促進企業連携体

目次

第1章	はじめに	3
第2章	業務概要	4
2.1	業務目的	4
2.2	本業務における取組の特徴	4
第3章	PR 動画及び記事の制作・発信	5
3.1	業務内容	5
3.2	PR 動画及び記事の制作・発信	5
3.3	PR 動画及び記事一覧	7
3.4	制作・掲載（おきなわ島ぐらし）	8
第4章	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等	13
4.1	業務内容	13
4.2	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等の業務フロー	13
4.3	制作記事一覧	14
4.4	制作・掲載記事	15
第5章	2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施	16
5.1	業務内容	16
5.2	モニターツアー実施の業務フロー	16
5.3	実施モニターツアー一覧	17
5.4	実施モニターツアー	17
第6章	先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築	22
6.1	業務内容	22
6.2	先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築の業務フロー	22
6.3	相談一覧	23
6.4	相談内容	23
第7章	関係人口等とのワークショップ等の開催	26
7.1	業務内容	26
7.2	関係人口等とのワークショップ等の開催の業務フロー	26
7.3	ワークショップ開催一覧	27

7.4	ワークショップ開催	27
第8章	PR 等の効果検証	29
8.1	効果検証の概要	29
8.2	モニターツアー評価	29
8.3	ワークショップ評価	42
8.4	メール相談評価	49
8.5	PR 記事・動画の閲覧	49
8.6	PR 活動全般に関する自己評価	75
8.7	今後の移住促進 PR 活動のあり方についての検討	77
第9章	おわりに	79

第1章 はじめに

本報告書は、沖縄県が実施した「令和6年度離島・過疎地域づくり DX 促進による移住定住 PR 等事業」で実施された活動内容の報告である。県では令和4年度から「離島・過疎地域づくり DX 促進事業」として、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備に取り組んでおり、本報告は、令和6年度における事業の報告をとりまとめたものである。

本事業では、沖縄の離島・過疎地域への移住定住を促進するための各種プロモーション活動を実施した。その際、将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、2地域居住者等の誘致を図ることも主要な狙いとした。また、沖縄の離島・過疎地域への移住への関心を高めるための取組に加えて、移住ないし2地域居住後の定住条件整備につながる支援サービスのプロモーション活動も実施した。

各種 PR 活動を実施する際に、DX 促進の取組としてデジタル技術を積極的に活用した。プロモーション用の記事や動画を作成し、移住する際に必要となる情報をデジタル媒体等で発信した。先輩移住者を活用した相談・受入体制の構築にあたっては、オンライン相談窓口を用意し、運用した。2地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターの実施に際しては、オンラインで周知・募集を図った。さらに、関係人口等とのワークショップをオンラインで開催した。

本報告書では、事業で実施した活動を紹介するとともに、事業検証の結果もあわせて報告する。本章に続く第2章から第7章において、各種プロモーション活動を報告する。そして第8章において、本事業の検証結果をまとめた。

第2章 業務概要

2.1 業務目的

成長著しいデジタル技術の活用は、離島・過疎地域の距離と時間の制約を解消し、地理的条件不利性の克服に繋がることが期待されるため、県では令和4年度から「離島・過疎地域づくり DX 促進事業」として、オンライン学習塾支援や高齢者等の見まもり支援を実施し、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備に取り組んでいる。

本業務では、これらのデジタル技術の活用による移住定住条件の整備を促進したうえで、移住する際に必要となる情報を発信するため、デジタル広報によるプロモーション施策などを実施した。

2.2 本業務における取組の特徴

(1) 移住経験のある地元テレワーカーによる各種 PR 活動

- 本提案の重要な特徴は、令和元年度より沖縄県（企画部地域・離島課）の補助を受けて提案者が実施してきた「離島テレワーク人材育成補助事業」をはじめとした、「テレワーク人材育成事業」と連携し、主要な業務を実施することにある。
- 以下の事業と連携して業務を実施した。業務実施に際して、県内離島・本島北部のテレワーカーに本事業の PR 業務の多くを担当してもらった。

事業名	発注者	事業概要	主な活動	実施年度	参加人数
離島テレワーク人材育成補助事業	沖縄県	県内全離島市町村を対象として、個人事業主型テレワーカーとしての育成、テレワーク業務の斡旋や就業支援などを実施する事業者へ助成を行うことにより、離島住民の所得向上及び島外から仕事を取り込む環境を構築する。	○テレワーカー等の募集 ○テレワーカー等の育成 ○テレワーカー等の就業支援 ○テレワーク等環境の構築	令和元年	777名 (令和6年3月現在)
				令和2年	
				令和3年	
				令和4年	
				令和5年	
離島ICT利活用人材等高度化補助事業	沖縄県	沖縄県内の離島地域においてテレワーカーの高付加価値を目指した人材育成、テレワーク等の斡旋、就業支援等により、離島住民の収入の安定及び向上を図り、島外から仕事を取り込む環境を構築する。			
テレワーカー人材育成事業業務	本部町	本部町においてテレワーカーの人材育成と就労支援等を実施することにより、町民の新たな収入源確保に繋げ、多様な働き方で環境の変化に対応できる強い地域経済の構築を目的とする。		令和4年	59名
				令和5年	52名

(2) 移住経験者自身の声による PR

上記事業に登録されている離島の地元テレワーカー 777 名 のうち、少なくとも 307 人 (39.5%) が移住者 (移住経験者) である。また、本島北部 (本部町) の令和4年度の地元テレワーカー59名のうち、15名 (25%) が移住者 (移住経験者) である。すなわち、先輩移住者としての経験を生かして業務にあたってもらった。

	登録人数	本島から移住	県外から移住	女性の割合
離島	777名	30名 (3.9%)	277名 (35.6%)	562名 (27.3%)
本部町	59名	0人 (0%)	15名 (25%)	49名 (83%)

第3章 PR 動画及び記事の制作・発信

離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者及び2地域居住実践者をモデルとしたPR動画・記事を制作した。本章では、PR動画・記事の制作・発信に係わる業務の実施内容を報告する。

3.1 業務内容

PR動画及び記事の制作・発信に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
<p>離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者及び2地域居住実践者をモデルとした動画・記事を合計10本以上制作すること。</p> <p>先輩移住者及び2地域居住実践者の募集にあたっては広く周知するなど、予算の範囲内で様々な動画・記事の掲載が出来るよう仕組みを検討・構築すること。</p> <p>なお、動画の時間については、5～10分以内とするなど、視聴者が興味を持ち且つ飽きない構成を意識すること。</p> <p>制作した記事については、沖縄県公式移住応援サイトおきなわ島ぐらしに、動画については、YouTubeチャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に、広告配信を行うなど広く周知を行うこと。</p>

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
<ul style="list-style-type: none"> ○ 離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者をモデルとした動画18本・記事を3本制作した。 ○ 先輩移住者及び2地域居住実践者の募集にあたっては広く周知するなど、予算の範囲内で様々な動画・記事の掲載が出来るよう仕組みを検討・構築した。 ○ 動画の時間については、5～10分以内とするなど、視聴者が興味を持ち且つ飽きない構成を意識した。 ○ 制作した記事については、沖縄県公式移住応援サイトおきなわ島ぐらしに、動画については、YouTubeチャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に、広告配信を行うなど広く周知を行った。

3.2 PR 動画及び記事の制作・発信

PR動画及び記事の制作・発信に関する業務フローは、以下のとおり。

1. 対象となる離島・過疎地域を選定

(動画：多良間村、大宜味村、東村、伊江村、北大東村、伊平屋村)

(記事：国頭村、東村、伊江村)

2. インタビュイーを担当する離島・過疎地域への先輩移住者及び2地域居住実践者を選定
自治体紹介者やテレワーカーから面接にて選定
(動画：6名、記事：3名)
3. 方針を決定
動画制作は1本5分～10分程度、1地域につき3本制作、6地域を対象に合計18本作成。
記事作成は1記事2,000字程度、1地域につき1記事作成、3地域を対象に合計3記事作成。
4. インタビュー設計
【移住体験や心の中の思い】
地域の基本情報、移住検討から移住実施までのストーリー
 - ① 地域の基本情報（所在地、那覇からのアクセス方法、人口、移住者の割合、季節ごとの特徴）
 - ② 移住前の経歴
 - ③ 移住のきっかけ
 - ④ 移住について（移住前の情報収集の仕方、家探し、家賃相場、引っ越し方法）
 - ⑤ 移住支援金、移住相談環境現在の生活スタイル
 - ① 職業について（仕事の探し方、仕事の選択肢、給与相場）
 - ② ネット環境
 - ③ 休日、勤務日の過ごし方
 - ④ 生活環境（交通手段、買い物、食生活、病院、福祉、子育て）
 - ⑤ 台風時の対策、体験談地域の特徴、感想
 - ① 地域について（魅力、治安、特徴、上手に暮らすコツ、住民との距離感）
 - ② 移住して困ったこと、移住してよかったこと
 - ③ 今後の夢や目標
 - ④ 移住希望者に向けたメッセージ
5. インタビュー実施
<動画>
出演は、先輩移住者が担当
事前準備、プロデュース、ディレクション、カメラマン、インタビュアー、撮影／録音機材の準備等は、事務局が担当

<記事>

インタビューの質問内容を記載した Word ファイルをインタビュイーに渡し、文字で回答してもらう

インタビュー回答者から(本人の写真、家族写真、沖縄の離島・過疎地域の写真、仕事中的写真など)写真の提供

6. 編集

<動画>

動画編集を希望するテレワーカーに対しコンペティションを実施し、選定

動画編集は、コンペティションで選定されたテレワーカーが担当

オープニング・エンディング・テロップ・BGM・音声・インサート・明るさなどの指示や納品チェックは、事務局が担当

<記事>

インタビュー記事執筆経験のあるテレワーカーがインタビュー記事を執筆

事務局がディレクション・校正・納品

7. 掲載・周知

<動画>

YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」に投稿、沖縄県公式移住応援サイト

「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に周知を実施

<記事>

沖縄県公式移住応援サイト「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に周知を実施

<周知が実施されたデジタル広報媒体>

① 「おきなわ島ぐらし」のサイト

② 「おきなわ島ぐらし」の SNS

③ 多良間村ホームページ

④ 大宜味村ホームページ

⑤ 伊江村ホームページ

3.3 PR 動画及び記事一覧

3.3.1 PR 動画一覧

制作された PR 動画には、地域ごとに以下の先輩移住者が出演した。

対象地域	性別	移住年	出身地
多良間村	男性	2021 年	兵庫県
大宜味村	男性・女性 (夫妻)	2022 年	沖縄県那覇市
東村	女性	2022 年	沖縄県東村 (U ターン)
伊江村	女性	2021 年	岡山県

北大東村	男性	2016年	長崎県
伊平屋村	女性	2016年	鹿児島県

3.3.2 PR 記事一覧

地域ごとに以下の2地域居住実践者にインタビューを行い、PR記事を制作した。

対象地域	性別	移住年	出身地
国頭村	男性	2016年	神奈川県
東村	女性	2014年	沖縄県うるま市
伊江村	男性	2017年	兵庫県

3.4 制作・掲載（おきなわ島ぐらし）

以下のように「おきなわ島ぐらし」に掲載された。

3.4.1 PR 動画

地域	YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」URL	画像
多良間村	1 本目： https://youtu.be/1Q83Yfw8m9Q?si=9wo106JjRaqWE4Nx	
	2 本目： https://youtu.be/eMq9F4SPrbU?si=z4trCYuTDRproKy1	
	3 本目： https://youtu.be/flyxfI8D-xc?si=8LpFvFw5zJ7tNdbX	

<p>大宜味村</p>	<p>1 本目： https://youtu.be/QZ4gEU3wOA</p>	
	<p>2 本目： https://youtu.be/6gMkOXLPwEc</p>	
	<p>3 本目： https://youtu.be/KaUFs9dbtNA</p>	
<p>東村</p>	<p>1 本目： https://youtu.be/hI_yKgQcMZ8?si=fexG2agsrsl2-srE</p>	
	<p>2 本目： https://youtu.be/Q8CwMdsytiE?si=wMpQ_f4wfQaXKJpQ</p>	
	<p>3 本目： https://youtu.be/bXZhXsVucfs?si=9q1Ptr80PL2kgY6T</p>	

伊江村	1 本目： https://youtu.be/_lHzcfEnYsI?si=d1oJi-cnP83SRLR-	
	2 本目： https://youtu.be/FVCN5C_ZzWM?si=Ga0FsERzX5FaWwA8	
	3 本目： https://youtu.be/K1PL7fUuCbM?si=Vy1bwmJxAgyb-2Hr	
北大東村	1 本目： https://youtu.be/H7_HsHo5-nc?si=-iVDZW2Va_Aq90Ll	
	2 本目： https://youtu.be/vPSLi0HQQpE?si=WebcShTC8J_QuxD4	
	3 本目： https://youtu.be/PnKht4FJAgI?si=B5wqGd9MfXVLz6jh	

伊平屋村	1 本目： https://youtu.be/oJpX1ewCvho?si=k_8PvojonI6m_GTi	
	2 本目： https://youtu.be/TFxSFTTswg?si=Rbd5i73N8lnDWPvL	
	3 本目： https://youtu.be/qCy764DRX_k?si=xlmaRcnJSZkfdglq	

3.4.2 PR 記事

地域	サイト 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
国頭村	https://okinawa-iju.jp/news/18180/	
東村	https://okinawa-iju.jp/news/18449/	

伊江村	https://okinawa-iju.jp/news/18156/	
-----	---	--

第4章 WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等

デジタル技術を活用した移住定住条件の整備として実施されているオンライン学習塾及び高齢者の見まもり支援サービスの利用者の紹介記事を制作し、サイトや SNS で配信を行った。本章では、WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等に係わる業務の実施内容を報告する。

4.1 業務内容

WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
デジタル技術を活用した移住定住条件の整備として、オンライン学習塾及び高齢者の見まもり支援サービスの導入補助を行っており、実際の利用者の紹介記事を作成し移住 WEB 媒体への掲載や SNS での広告配信を行うなど、広く周知を行うこと。

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
○ オンライン学習塾及び高齢者の見まもり支援サービスの実際の利用者の紹介記事を作成した。
○ 移住 WEB 媒体への掲載や SNS での広告配信を行うなど、広く周知を行った。

4.2 WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等の業務フロー

WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等の業務フローは、以下のとおり。

1. 対象地域・紹介する利用者を選定

当該サービスの利用地域、記事で紹介する利用者を補助事業者から紹介
(オンライン学習塾：東村、高齢者の見まもり支援サービス：大宜味村)

2. インタビュー設計

<オンライン学習塾>

- ① オンライン学習塾の概要
- ② 知ったきっかけ
- ③ 始めたきっかけ
- ④ 塾に通った経験の有無
- ⑤ オンライン学習塾の環境
- ⑥ 現在取っている科目、通っている頻度、授業の長さ
- ⑦ 使ってみて良かったこと、わかりやすさ
- ⑧ 使ってみて困ったこと、わかりにくさ

- ⑨ 学習成果
- ⑩ 学習に対する意識や学習習慣の変化
- ⑪ 今後の学習目標
- ⑫ これからも使い続けたいか
- ⑬ 今後期待すること
- ⑭ 他の人にも進めたいか
- ⑮ 申し込み方法

<高齢者の見まもり支援サービス>

- ① 高齢者の見まもり支援サービスの概要
- ② 知ったきっかけ
- ③ 導入前に抱えていた不安・悩み
- ④ 導入しようと思ったきっかけ
- ⑤ 導入に必要な環境や設置場所
- ⑥ 設置方法、操作方法、機械に弱い人でも使えるのか
- ⑦ 緊急時の対応の流れ、サポート体制
- ⑧ 使ってみて良かったこと、安心感はどうか
- ⑨ 使ってみて困ったこと、負担に思うこと
- ⑩ これからも使い続けたいか、他の人にも勧めたいか
- ⑪ 今後期待すること
- ⑫ 申し込み方法

3. インタビュー実施

事務局が実際の利用者を訪問し、本人・家族と担当者へのインタビューを実施
事務局がインタビューの写真、実際に使用している写真等を撮影

4. インタビュー記事作成

インタビュー記事執筆経験のあるテレワーカーがインタビュー音源を聴いて記事執筆

事務局がディレクション・校正・納品

5. 掲載・周知

サイト「おきなわ島ぐらし」への掲載や SNS での広告配信を行うなど、広く周知
<周知>

- ① SNS「おきなわ島ぐらし」
- ② 補助事業者 SNS
- ③ 大宜味村広報誌「大宜味」

4.3 制作記事一覧

サービスごとに、以下の利用者インタビューを行い、記事を制作した。

サービス	対象地域	インタビュー (利用者)	インタビュー (家族)
オンライン学習塾	東村	女性	父親
高齢者の見まもり支援サービス	大宜味村	男性	娘

4.4 制作・掲載記事

制作された記事は、以下のように沖縄県公式移住応援サイト「おきなわ島ぐらし」に掲載された。

4.4.1 オンライン学習塾（東村）

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
https://okinawa-iju.jp/news/18649/	

4.4.2 高齢者の見まもり支援サービス（大宜味村）

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
https://okinawa-iju.jp/news/18312/	

第5章 2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施

将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、オーダーメイド型のモニターツアーを開催した。本章では、2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施に係わる業務の実施内容を報告する。

5.1 業務内容

2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
現在居住している地域とは別に、県内の離島・過疎地域の中短期滞在を通して田舎暮らしを体験し愛着を持って貰うことで、将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、リモートワーカーやワーケーション推進企業等を対象とした、2 地域居住者等の誘致を図るモニターツアーを開催すること。開催に際しては、予算の範囲内で広く周知活動を行うこと。

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
○ オーダーメイド型を採用し、リモートワーカー等の 2 地域居住者等の誘致を図るモニターツアーを 4 地域で開催した。

5.2 モニターツアー実施の業務フロー

モニターツアー実施の業務フローの業務フローは、以下のとおり。

1. 対象地域を選定（石垣市・伊是名村・多良間村・大宜味村）
2. ガイドを担当する離島・過疎地域への先輩移住者を選定
テレワーカーや自治体紹介者内から面接にて選定（4 地域、計 4 名）
3. ツアーガイドの研修
ツアーガイドを行う際のマニュアルを作成
ガイド候補者に業務研修を受講してもらい、本人のスキルと適性を確認
4. モニターツアー形態
オーダーメイド型の半日または半日のガイドツアー
5. モニターツアーの実施
事務局がツアーの企画、運営を担当
旅行代理店がモニターツアーのパッケージ化・募集販売支援
先輩移住者のテレワーカーが現地サポートならびに視察ガイドを担当

5.3 実施モニターツアー一覧

モニターツアーの地域ごとの実施概要は、以下の一覧のとおり。

対象地域	ガイド	ツアー日	人数	状況
石垣市	女性	2024年12月3日	1名	実施
		2025年2月19日	1名	実施
伊是名村	女性	2025年1月24日	1名	キャンセル
		2025年1月26日	2名	キャンセル
		2025年2月18日	1名	実施
多良間村	男性	2025年2月8日	2名	実施
大宜味村	男性	2024年11月26日	1名	実施
		2024年12月26日	2名	キャンセル
		2024年12月31日	2名	実施
		2025年2月19日	1名	実施
		2025年2月20日	1名	実施
		2025年2月26日	2名	実施

5.4 実施モニターツアー

実施したモニターツアーにおける参加者の要望事項、訪問先等は、以下のとおり。

5.4.1 石垣市

日にち（実施状況）、写真	参加者の要望	訪問場所
2024年12月3日 （実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活圏 	<ul style="list-style-type: none"> ● 星野集落 ● 伊野田集落 ● 野底集落 ● 崎枝集落 ● かりゆし病院 ● スーパー（AEON） ● 八重山病院 ● 石垣市役所 ● スーパー（サンエー）

<p>2025年2月19日 (実施)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他県から移住した方が運営している民宿や飲食店でヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海のもの山のもの(生産・加工・販売しているお店) ● OASE HOSHINO(コンテンツハウス) ● Joo Chiat Café ● 川平集落、崎技集落 ● 石垣島サイエンスガーデン
--	--	---

5.4.2 伊是名村

日にち(実施状況)、写真	参加者の要望	訪問場所
<p>2025年1月24日 (キャンセル)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地のおススメ ● 現地の人と話したい ● 事業相談 	<p><訪問予定場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 玉御殿 ● シラサギ展望台 ● マッテラ浜 ● ギタラ展望台 ● チゼン岳 ● 伊是名集落銘苺家 ● ビーチでサンセット ● 村民と交流
<p>2025年1月26日 (キャンセル)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活に必要な場所 ● 海 	<p><訪問予定場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吉田商店 ● 農協スーパー外観見学 ● 小・中学校外観見学 ● 役場 ● チゼン岳 ● 伊是名区散(銘苺家、集落散策、移住者の店) ● イゼナビーチハウス ● ぎたら展望台 ● 日本の渚百選 ● マッテラ浜 ● しらさぎ展望台 ● 伊是名城山玉御殿 ● 仲田区共同売店

<p>2025年2月18日 (実施)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活するにあたって重要な場所 ● 史跡 	<ul style="list-style-type: none"> ● 仲田売店 ● 玉御殿 ● マッテラ浜 ● ギタラ展望台 ● 銘苺家 ● 役場 ● 農協スーパー ● 銀行、郵便局、診療所 ● 住まい ● みほそ所 ● アーサ畑
--	--	--

5.4.3 多良間村

日にち (実施状況)、写真	参加者の要望	訪問場所
<p>2025年2月8日 (実施)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフライン (スーパーやクリニックなど) ● 畑や畜産をしている場所 	<ul style="list-style-type: none"> ● 八重山遠見台 (島の概要説明) ● スーパー、クリニックなど ● 畑や畜産をしている場所 ● すまむたらま (移住者からヒアリング) ● 観光施設 ● 史跡 ● 島の行事を行う場所 ● 団地

5.4.4 大宜味村

日にち（実施状況）、写真	参加者の要望	訪問場所
<p>2024年11月26日 （実施）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家 ● 大宜味村の環境 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大宜味村役場 ● 移住定住促進住宅の見学 ● 津波区長訪問（空き家情報聞き込み） ● 結の浜にてコンビニ、診療所視察 ● 田嘉里公民館（区長に空き家情報の聞き込み） ● 田嘉里共同売店 ● 謝名城公民館（区長に空き家情報の聞き込み） ● 喜如嘉公民館（区長に空き家情報の聞き込み） ● 喜如嘉芭蕉布会館見学
<p>2024年12月26日 （紹介できる物件がなく、お客様都合でキャンセル）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家見学 ● 住む場所の候補 	
<p>2024年12月31日 （実施）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 居住地域 ● 病院 ● スーパー ● 定住にあたっての支援内容 ● シニア向けの仕事 ● （可能であればシークワサー農園、コーヒー園） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 喜如嘉翔学校外観見学 ● 田嘉里共同売店 ● 大宜味村農村活性化センター、キザハコーヒー ● やんばるの森ビジターセンター ● MOA大宜味村農場 ● 塩屋湾・フードリボン外観見学 ● 六田原展望台 ● 塩屋漁港・結の浜(住宅分譲地、診療所など)

<p>2025年2月19日 (実施)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● サバニづくり ● 農業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大宜味村の蕎麦畑の取組や MOA 大宜味農場などの紹介 ● 大宜味村農村活性化センター、キザハコーヒー ● 塩屋湾（ヘントナサバニの工房見学・ヒアリング） ● 芭蕉布工房 ● 喜如嘉翔学校
<p>2025年2月20日 (実施)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業 	<ul style="list-style-type: none"> ● MOA 大宜味農場 ● 大宜味村の蕎麦畑の取組紹介 ● がじんまろー（無農薬栽培のシークワサージュースを提供しているカフェ） ● 大宜味村役場産業振興課（シークワサー農園の現状についてヒアリング）
<p>2025年2月26日 (実施)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活に必要な場所 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田嘉里（共同売店、山原酒造、オキナワカカオなど） ● 謝名城（共同売店、喜如嘉翔学校、喜如嘉共同売店、芭蕉布会館） ● 大宜味村農村活性化センター ● フードリボン外観見学 ● シークワサーパーク ● 結の浜（診療所）

第6章 先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築

デジタルツールを用いて先輩移住者に相談できるプラットフォームを構築・運用した。本章では、先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築に係わる業務の実施内容を報告する。

6.1 業務内容

先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
既に県内の離島・過疎地域に移住している先輩移住者を活用し、沖縄移住サポーターとして、デジタルツール（LINE や slack 等のチャットアプリ等）を用いて気軽に相談できるプラットフォームを構築するとともに、移住して間もない方の定住に向けたアフターフォロー等を実施することで円滑に地域へ馴染める受入体制を構築すること。また、相談対応等を行う上で必要となるスキルや心構え等の研修会を開催すること。

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
<ul style="list-style-type: none"> ○ 既に県内の離島・過疎地域に移住している先輩移住者を活用し、沖縄移住サポーターとして、デジタルツールを用いて気軽に相談できるプラットフォームを構築した。 ○ 移住して間もない方の定住に向けたアフターフォロー等を実施することで円滑に地域へ馴染める受入体制を構築した。 ○ 相談対応等を行う上で必要となるスキルや心構え等の研修会を開催した。

6.2 先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築の業務フロー

先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築の業務フローは、以下のとおり。

1. 対象地域を選定（石垣市、宮古島市、北大東村、大宜味村）
2. 沖縄移住サポーターの募集
沖縄移住サポーターを担当する離島・過疎地域への先輩移住者を選定
自治体紹介者やテレワーカーから面接にて選定（4地域、計4名）
3. プラットフォームの選定と構築
データ分析および先輩移住者の意見を参考に、パソコンだけでなくスマホアプリで利用可能なデジタルクラウド型ツール Google 社の Gmail を選定
4. サポート業務設計とサポーター研修
サポート業務の設計を行い、サポートを行う際のマニュアルを作成

事務局が沖縄移住サポーターに業務研修をおこない、本人のスキルと適性を確認した上で、サポート業務を実施

5. 相談対応のあり方

デジタルクラウド型ツール Google 社の Google フォームで相談を受け付け、Gmail 上で沖縄移住サポーターが移住を検討中ないし移住初心者への相談対応

6. 本プラットフォームの告知

本事業で実施するツアーやワークショップ、その他サイト「おきなわ島ぐらし」、SNS 等で、本プラットフォームの活用を促す告知

6.3 相談一覧

地域ごとに、以下の移住サポーターが相談に対応した。

対象地域	沖縄移住サポーター	相談件数
石垣市	女性	12 件
宮古島市	女性	11 件
北大東村	男性	7 件
大宜味村	女性	10 件

6.4 相談内容

各地域について、寄せられた相談内容は、以下のとおり。

6.4.1 石垣市

	質問内容
1	ペットを飼える物件の有無
2	福祉系の仕事の有無
3	戸建て住宅の有無
4	海外（ジェノバ）から石垣へ移住することへの難しさ
5	低賃金（手取り 19 万円）での一人暮らしは可能か
6	自炊をすれば低賃金（手取り 19 万円）でも生活できるか
7	美容系の仕事の有無
8	農業の開始前に試験的に借りられる土地の有無
9	移住の補助金・助成金
10	物価
11	教育の考え方

12	レンタカー業の需要
----	-----------

6.4.2 宮古島市

質問内容	
1	シングルマザーの子育て
2	治安
3	住みやすさ、住みにくさ
4	教育機関
5	賃貸物件の高騰と空き
6	移住前の物件視察で見るとべきこと
7	不動産の探し方
8	移動手段
9	バス・タクシーの利便性
10	台風時の停電の頻度
11	停電時の対策

6.4.3 北大東村

質問内容	
1	インターネット環境
2	医療面で困ったこと
3	島外の病院に行く時の補助金
4	地域行事
5	移住者の受け入れ方
6	移住前に知っておくべきこと
7	身につけておけばよかったスキル

6.4.4 大宜味村

質問内容	
1	住宅・求人情報の発信依頼
2	短期間（冬季限定）の住居
3	冬季限定の仕事
4	住宅の有無
5	仕事の種類

6	住宅の有無
7	住宅の探し方
8	農業の開始前に試験的に借りられる土地の有無
9	単身で生活できるような仕事の有無
10	住宅情報

第7章 関係人口等とのワークショップ等の開催

移住促進をテーマとするワークショップを1回開催した。本章では、関係人口等とのワークショップ等の開催に係わる業務の実施内容を報告する。

7.1 業務内容

関係人口等とのワークショップ等の開催に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
<p>職種や働き方が限られる離島・過疎地域において、多様な働き方やスキルを有する2地域居住者等(リモートワーカー等)と接点を持つことは、児童等においては進学や就職などの将来の選択肢を増やし、生まれた島に定着し人口流出の抑制にも繋がる。地域住民においては、生活や業務上の困りごとを外部の視点や自身の有するスキルを踏まえ、共に今後の方向性等を考えるキッカケになるためワークショップ等を開催する。</p>

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
<p>離島・過疎地域への2地域居住や移住を検討中の方、及び先輩移住者（地域住民）が参加するワークショップ等を開催した。2地域居住や移住を検討中の方に対しては、先輩移住者体験談や質疑応答を通じて、また地域住民においては、生活や業務上の困りごとを外部の視点や自身の有するスキルを踏まえ、共に今後の方向性等を考えるキッカケになるためのワークショップとした。</p>

7.2 関係人口等とのワークショップ等の開催の業務フロー

関係人口等とのワークショップ等の開催の業務フローの業務フローは、以下のとおり。

1. 対象となる離島・過疎地域の選定（石垣市、多良間村、大宜味村）
2. ワークショップに登壇する講師の先輩移住者を選定
PR 動画のインタビューの中から選定
3. パネリストを選定
質疑応答・意見交換の際に、移住者を代表して質問するパネリストをテレワーカーの中から選定
4. ワークショップのプログラムを設計
 - ① 開会
 - ② 沖縄県地域・離島課ごあいさつ
 - ③ 先輩移住者体験談（講師：先輩移住者）

- ④ 質疑応答、意見交換（講師：先輩移住者、地元自治体職員）
 - ⑤ 「アイランドコネクト沖縄」紹介
 - ⑥ その他企画の紹介
 - ⑦ 閉会
5. ワークショップ実施
1～2時間程度のオンラインワークショップ（zoom）を生配信にて実施
6. 掲載
録画した動画を動画編集のスキルを持つテレワーカーが編集し、後日沖縄県公式移住応援サイト「おきなわ島ぐらし」、YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載

7.3 ワークショップ開催一覧

以下の3地域を対象に、ワークショップを開催した。

対象地域	時間	当日の参加人数
石垣市 多良間村 大宜味村	2025年2月11日（火・祝） 13時00分～	47名（事務局4名を含む）

7.4 ワークショップ開催

ワークショップの実施プログラムと登壇者は、以下のとおり。

プログラム	登壇者
① 開会	事務局
② 沖縄県地域・離島課ごあいさつ	沖縄県 地域・離島課 1名
③ 先輩移住者体験談	<石垣市> ・先輩移住者：1名 <多良間村> ・先輩移住者：1名 <大宜味村> ・先輩移住者：2名（夫妻）

<p>④ 質疑応答、意見交換</p>	<p><石垣市> ・石垣市 ふるさと創生課： 1名 ・先輩移住者：1名 <多良間村> ・多良間村役場 総務財政課： 1名 ・先輩移住者：1名 <大宜味村> ・大宜味村 企画観光課 1名 ・先輩移住者：2名（夫妻）</p>
<p>⑤ 「アイランドコネクト沖縄」紹介</p>	<p>事務局</p>
<p>⑥ その他企画の紹介</p>	
<p>⑦ 閉会</p>	



オンラインワークショップの様子

第8章 PR等の効果検証

8.1 効果検証の概要

本章では、前章までに述べた各種 PR 活動のうち、以下の活動に関する効果検証の結果を報告する。

- ① モニターツアー
- ② ワークショップ
- ③ メール相談員
- ④ PR 記事・動画

上記4つの活動に関する検証方法は、以下のとおり。

項	活動内容	検証方法
①	モニターツアー	モニターツアー参加者を対象とした参加後に実施するアンケート調査
②	ワークショップ	ワークショップ参加者を対象とした参加後に実施するアンケート調査
③	メール相談員	メール相談の個票を検査し、離島・過疎地域への移住先での関心事である「生活」「仕事」「余暇」「子育て」「住居」「治安・災害・インフラ」「その他」のカテゴリーごとの相談状況を整理する
④	PR 記事・動画	先輩移住者が評価員となって、アンケート調査によって PR 記事・動画を評価する

8.2 モニターツアー評価

第5章で報告した「2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施」について、モニターツアーの参加者を対象とし、ツアー後にアンケートを実施した。アンケートの実施要領は、以下のとおり。

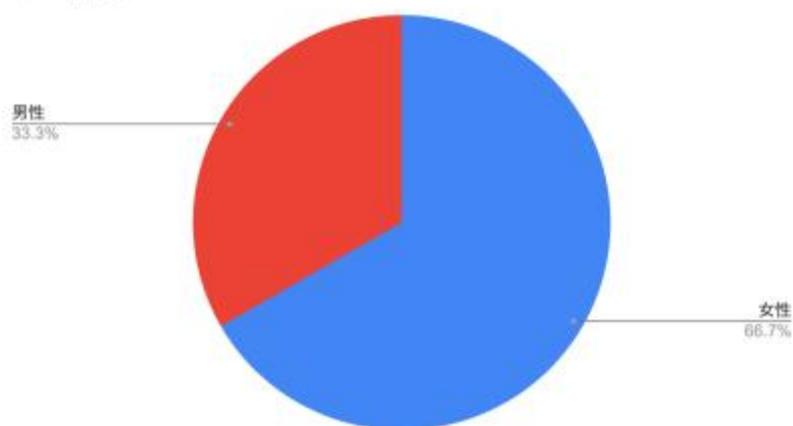
- 回答者：モニターツアー参加者（全員）
- 参加モニターツアー地域：石垣市・伊是名村・多良間村・大宜味村
- 回収サンプル数：12
- 調査実施時期：2024年10月31日～2025年3月2日
- 調査項目：
 - Q1. 性別
 - Q2. 年齢
 - Q3. 移住検討中状況
 - Q4. ツアー参加地域
 - Q5. 移住検討地域
 - Q6. 以前の訪問目的
 - Q7. 以前の2地域居住目的
 - Q8. 地域選択理由
 - Q9. 移住先に求めるもの
 - Q10. 移住先での仕事
 - Q11. 移住相談相手
 - Q12. 移住参考情報

- Q13. 移住検討時の不安・心配
- Q14. ツアー参加目的
- Q15. 移住開始希望時期
- Q16. 希望ツアー内容
- Q17. 移住したい気持ちの変化 (1)
- Q18. ツアー評価
- Q19. ツアーガイド評価
- Q20. ツアーで得られた情報評価
- Q21. 移住したい気持ちの変化 (2)
- Q22. 希望する移住者支援
- Q23. モニターツアー感想

調査項目ごとのアンケートの集計結果は、以下のとおり。

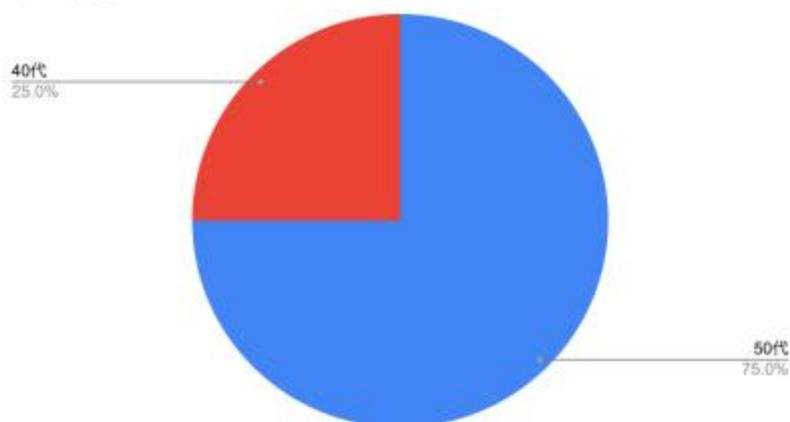
Q1. モニターツアーの参加者のうち 66.7%が女性、33.3%が男性であった。

Q1. 性別



Q2. モニターツアーの参加者のうち 75.0%が 50代で最も多く、25.0%が 40代であった。

Q2. 年齢



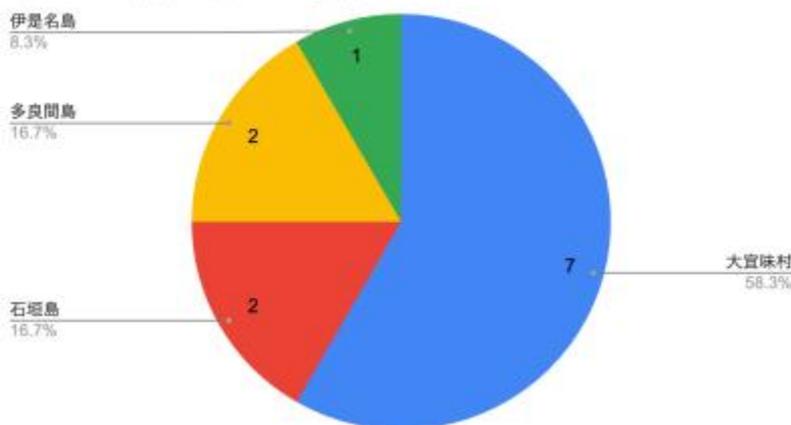
Q3. 本島からの移住（二拠点居住）を検討中が 41.7%、県外からの移住（二拠点居住）を検討中が 33.3%、他の離島からの移住（二拠点居住）を検討中が 25.0%であった。

Q3. どちらからの移住（どちらとの二地域居住）を検討されていますか？



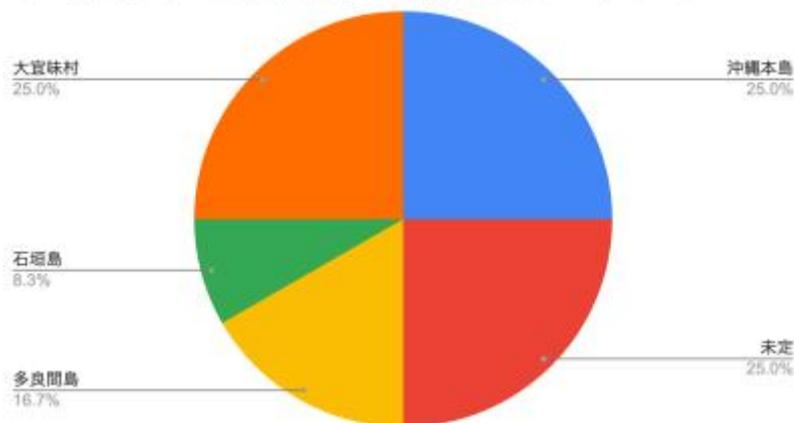
Q4. ツアーの参加者は、大宜味村 7 名、石垣島 2 名、多良間島 2 名、伊是名島 1 名であった。

Q4. どの地域のツアーに参加しましたか？



Q5. 移住（二地域居住）候補先で最も多いのは沖縄本島と大宜味村と未定でそれぞれ25.0%、多良間島が16.7%、石垣島が8.3%であった。

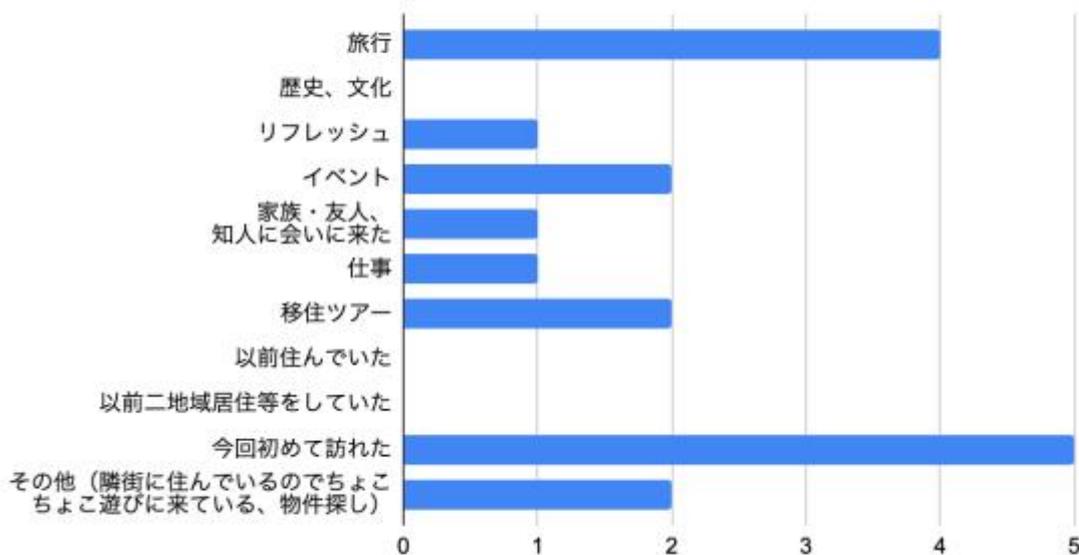
Q5. 移住先（二地域居住先）の候補地を教えてください。



※沖縄本島は大宜味村を除く

Q6. 各地域の訪問が初めての人が5名であるが、4名の人以前旅行で訪問した経験があった。

Q6. 以前は、どのような目的でこの地域に訪れましたか？※複数回答可



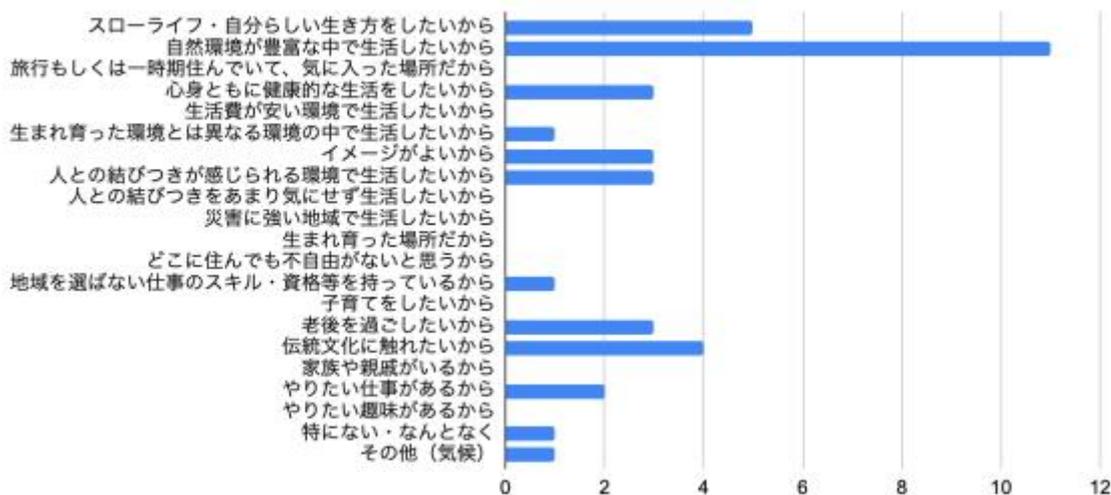
Q7. 該当者はいなかった。

Q7.
Q6で「以前二地域居住等をしていた」を選択した方のみ理由をお聞かしてください。※複数回答可



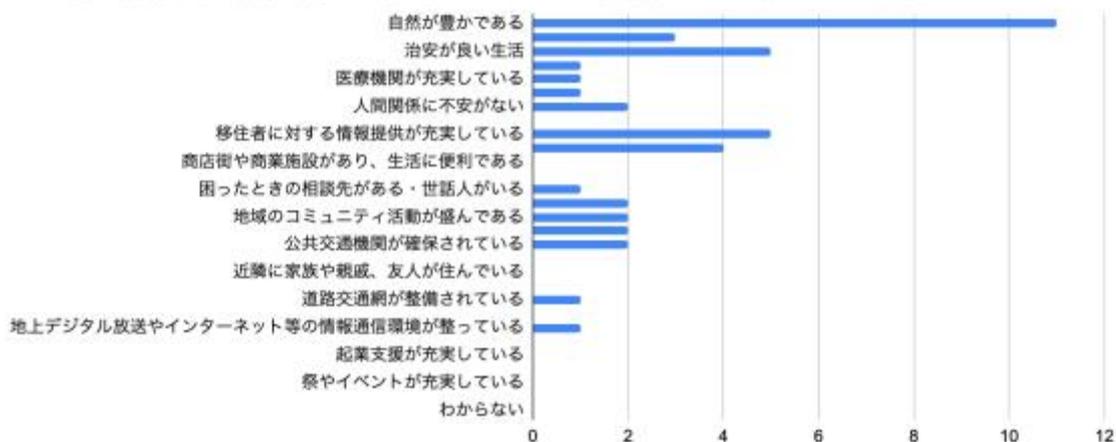
Q8. 当該地域への移住（二地域居住）を求めている理由として、「自然環境が豊富」が最も多く、「スローライフ・自分らしい生き方」がそれに続いて多く、「伝統文化」が続いて多い。

Q8. この地域を選んだ理由を選んでください。※複数回答可



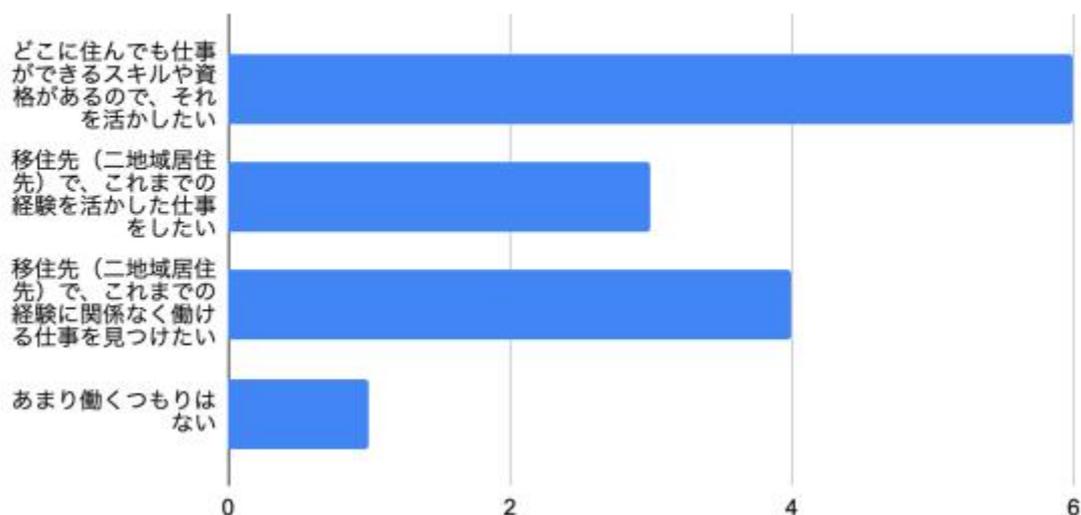
Q9. 移住（二地域居住）先に求めるものとしては、「自然が豊か」が最も多い。

Q9. 移住先（二地域居住先）に何を求めますか？※重要なもの上位5つまで選択



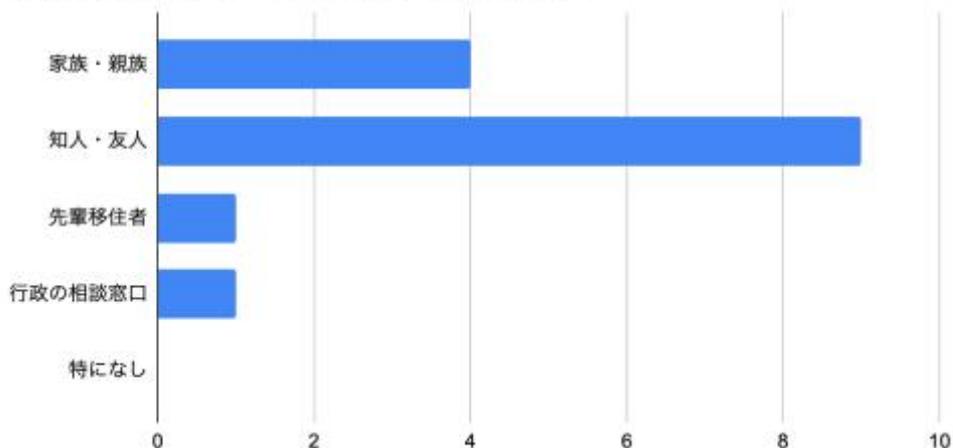
Q10. 移住（二地域居住）先での仕事については、スキルや資格を活かした仕事を望むケースが最も多い（42.8%）。

Q10.
移住した先（二地域居住した先）での仕事について教えてください。
※複数回答可



Q11. 移住（二地域居住）を相談する相手としては、知人・友人が最も多く、家族・親族がそれに続いて多い。

Q11.
移住（二地域居住）しようか考えている時に、どなたかに相談したり、意見を求めたりしましたか？※複数回答可



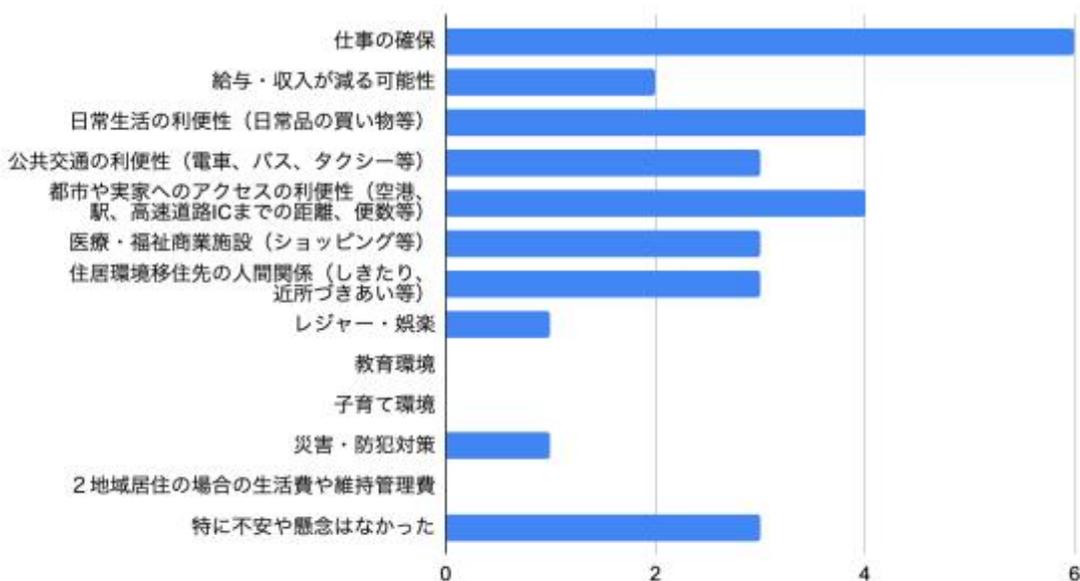
Q12. 移住（二地域居住）しようか検討中の際に、先輩移住者の体験や意見を求めているケースが最も多く、実際に経験した人からの情報に対する関心が強く表れた。

Q12.
移住（二地域居住）しようか考えている時に、どのような情報源が頼りになりましたか？ ※重要なもの上位5つまで選択



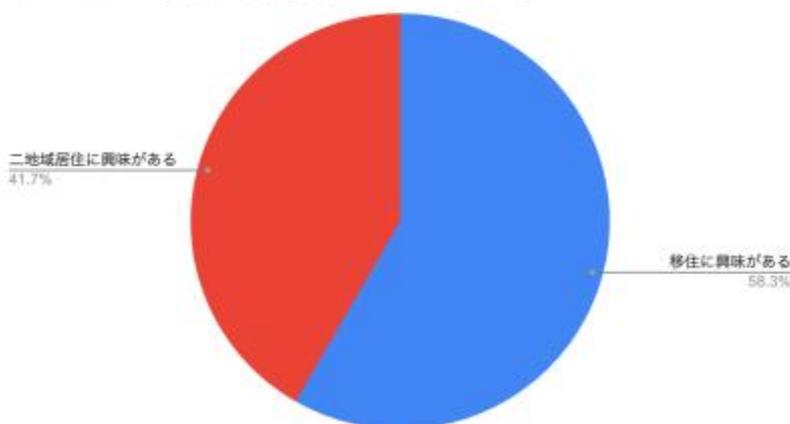
Q13. 移住（二地域居住）の際の最大の不安は、「仕事の確保」で、「日常生活の利便性」、「都市や実家へのアクセスの利便性」がそれに続いて多い。

Q13. 実際に移住（二地域居住）をするとなると、どのような点に不安・心配を感じますか？※重要なもの上位5つまで選択



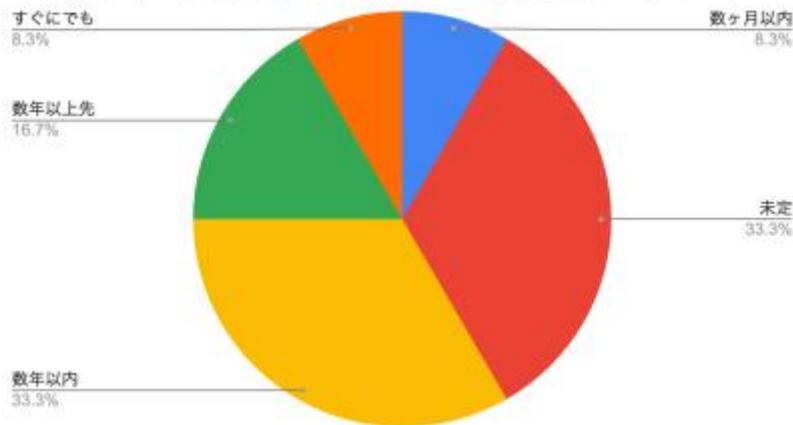
Q14. モニターツアーの参加目的は、定住型の移住が約6割、二地域居住が約3割であった。

Q14. ツアー参加の目的を選んでください。



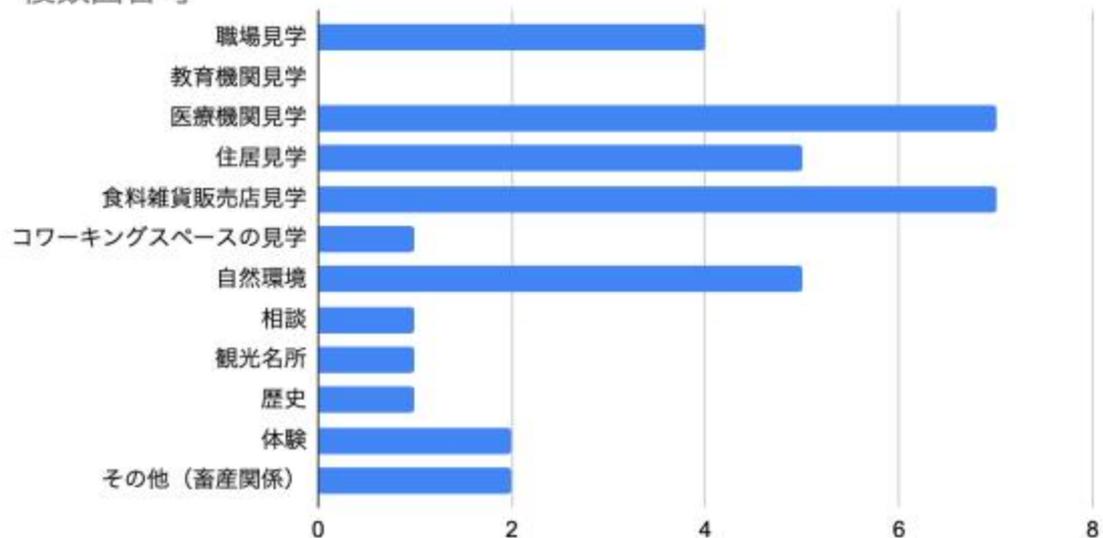
Q15. 移住（二地域居住）を開始したい時期は「未定」（33.3%）と「数年以内」（33.3%）が最も多く、「数年以上先」（8.3%）がそれに続いて多かった。

15. 移住（二地域居住）を開始したい時期を教えてください。



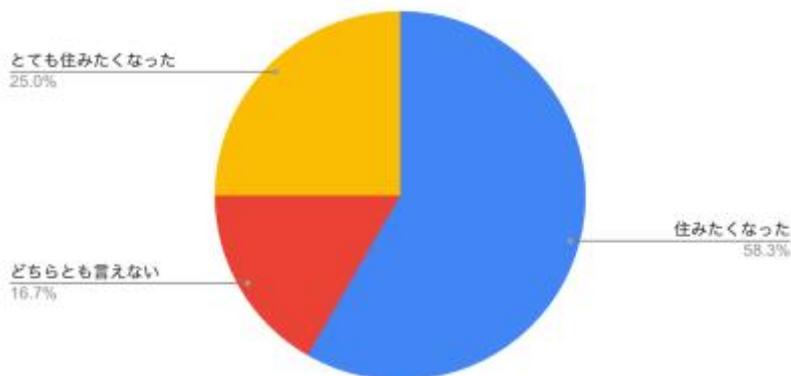
Q16. 希望したモニターツアーの訪問先として、「医療機関」と「衣料雑貨販売店」が最も多く、「住居」と「自然環境」がそれに続いて多い。

Q16.
今回のツアーでは、どのようなオーダーメイドを希望しましたか？※複数回答可



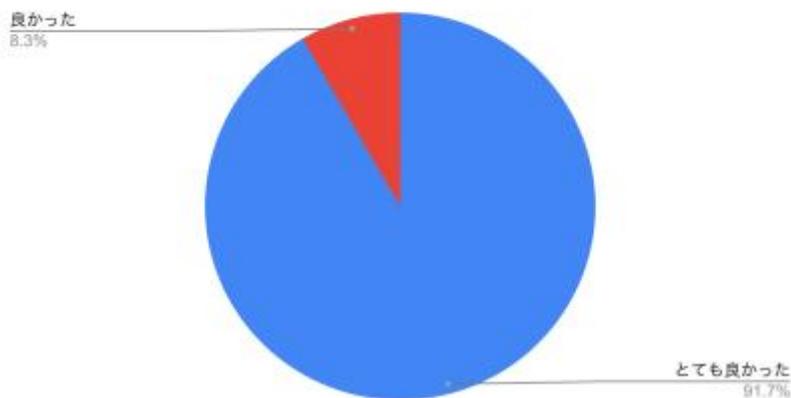
Q17. モニターツアーに参加して、移住（二地域居住）をしてみたくなくなったケースが83.3%であった。

Q17.
ツアーに参加して、移住（二地域居住）をしてみたいと思いましたが？



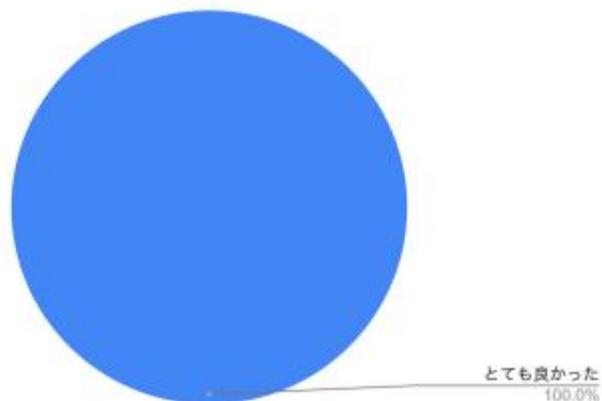
Q18. モニターツアーの参加者全員が参加して良かった（10割）と感じた。

Q18.
モニターツアーに参加してみて、良かったと思いますか？



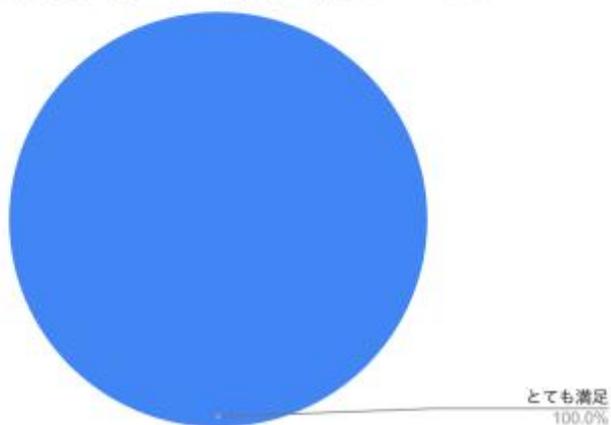
Q19. ツアーガイドの説明は、参加者全員が「とても良かった」（10割）と感じた。

Q19. 先輩移住者ツアーガイドの方の説明は、良かったと思いますか？



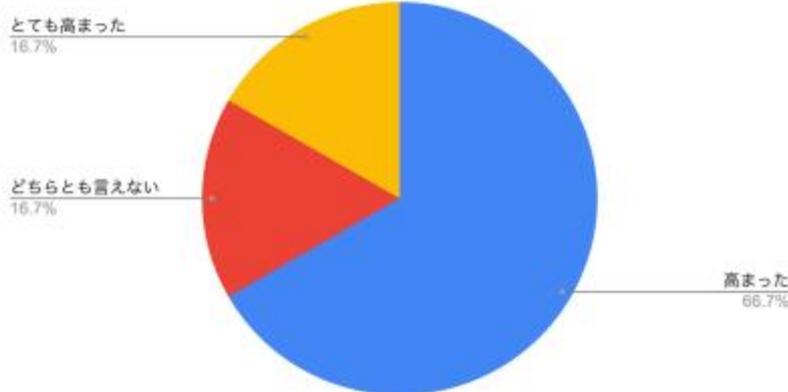
Q20. ツアーで得られた情報について、参加者全員が「とても満足」（10割）を感じた。

Q20. ツアーの訪問先で得られた情報に満足していますか？



Q21. 今回のツアーで移住（二地域居住）したい気持ちが「とても高まった」（16.7%）ケースと「高まった」（66.7%）ケースを合わせて 83.4%の参加者が移住（二地域居住）への気持ちの高まりを示した。

Q21.
今回のツアーで移住（二地域居住）したい気持ちが高まりましたか？



Q22 は、自由回答形式で、移住支援についての意見を求めた。得られた意見は、以下のとおり。

Q22. 県や地域の自治体による、どのような移住者支援があると良いですか？ご自由にお答え下さい。

- 住居の紹介（同一回答 3 件）
- 住居補助
- 住宅整備
- 住居情報提供の充実です。
- 住まいの確保（同一回答 2 件）
- 住居の紹介、移住者が住みやすい地域の紹介
- 今回のようなオーダーメイド方式がベスト
- 住居の提供又は紹介
- 住居

Q23 は、自由回答形式で、モニターツアーについての感想を求めた。得られた意見は、以下のとおり。

Q23. 今回のモニターツアーについて、どのように感じましたか？率直なご感想をお聞かせ下さい。

- いろんな場所を見学出来て良かった
- 色々な新たな発見があって良かった
- 移住者や地域の方と直接話せる機会を作ってもらえて、とても参考になった。
- とてもわかりやすい説明で、自分が住んだら？という事を考えながら見学できました。ありがとうございました。
- 自然が素晴らしく、小さなコミュニティ、徒歩圏内で必要なものは手に入るのので、移住した後の生活がある程度想像でき、良かったです。
- 自然豊かで、生活に必要なものは徒歩圏内にあり、移住後の生活の心配が想像できるツアーでした。ありがとうございました。
- 先輩移住者の実体験を直接伺えて、実際の生活を身近に感じることができたのがとても良かった。
- 先輩移住者のリアルな情報を聞いて、移住後の生活にリアリティーを感じた
- 当然のことながら、観光で訪れるのと、居住することは違うと感じた。どの地域で生活するのがいいか、またお話を伺えたらと思いました。
- 楽しくて時間を忘れた
- 実際に来てみて住んでいる方に案内してもらい、説明を受けないと知り得なかった情報がたくさんあったので、参加して良かったです。
- ガイドさんの説明が良く、生活されている方の素直な気持ちが聞いて良かったです。更に大宜味村に興味が出てきました。ありがとうございます。

以上のように、モニターツアーへの参加者からの評価としては、以下の点を指摘できる。

- モニターツアーの参加者は、ガイドおよびモニターツアーで得られた情報について極めて肯定的（12人中12人で100%）に捉えており、極めて満足度の高いモニターツアーを提供することができた。
- モニターツアーに参加することで、移住および二地域居住をしてみたい、したい気持ちが高まったことが確認できた。（12人中10人で83.3%）
- どの地域も移住者が住める住居がないことから、住居の確保や情報提供が課題となっている。

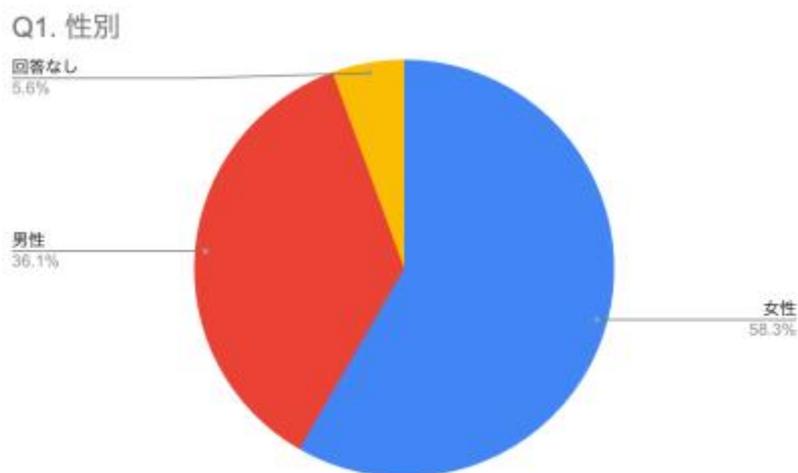
8.3 ワークショップ評価

第7章で報告した「関係人口等とのワークショップ等の開催」について、ワークショップ参加者を対象としたアンケート調査を実施した。アンケートの実施要領は、以下のとおり。

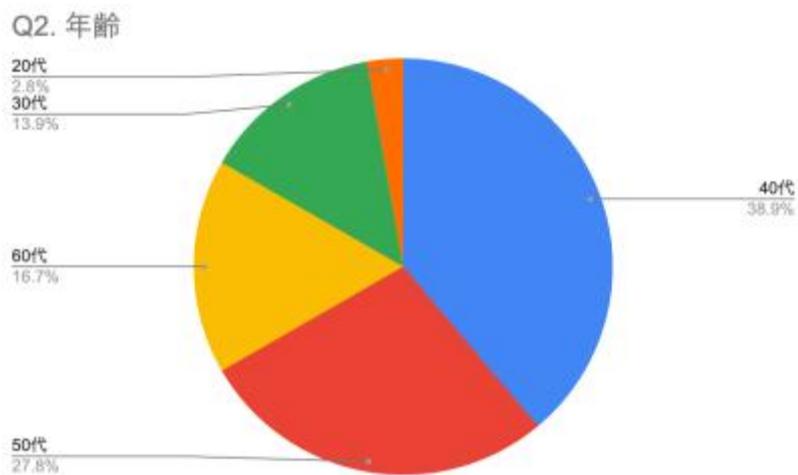
- 回答者：ワークショップ参加者
- 回収サンプル数：36
- 調査実施時期：ワークショップ（2025年2月11日）終了直後
- 調査項目：
 - Q1. 性別
 - Q2. 年齢
 - Q3. 移住検討中状況
 - Q4. 検討中移住形態
 - Q5. ワークショップセッションごとの感想
 - Q6. 移住に関して参考になった情報
 - Q7. ワークショップ認知経路
 - Q8. 今後取り上げて欲しいテーマ
 - Q9. 移住への意識の変化

調査項目ごとのアンケートの集計結果は、以下のとおり。

Q1. アンケート回答者の性別は、男性（36.1%）より、女性の割合（58.3%）が多い。

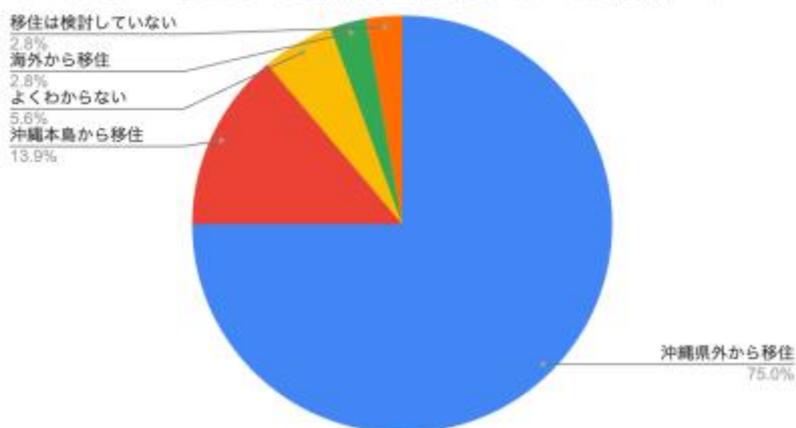


Q2. アンケート回答者の年齢は、40代（38.9%）が最も多く、50代（27.8%）、60代（16.7%）がそれに続いて多い。



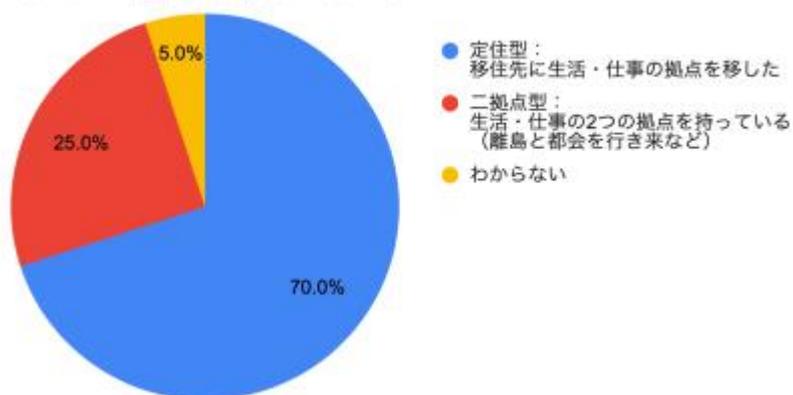
Q3. 沖縄県外からの移住や二拠点居住を検討中または実施済みの割合が多い (75.0%)。

Q3. 沖縄への移住や二拠点居住を検討中または実施済ですか？



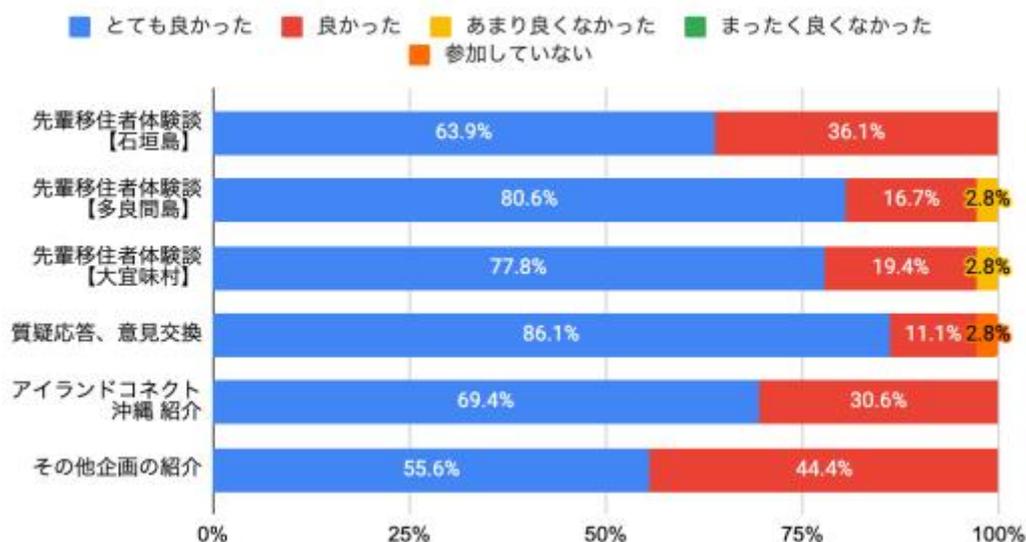
Q4. 定住型移住の割合が多い (70.0%) が、二拠点居住のケースも一定割合いる (25.0%)。

Q4. Q3.で移住検討または実施済 (1.~4.) と回答された方は、どのようなタイプの移住か、教えて下さい。



Q5.セッションごとの感想としては、全てにおいて高い評価がなされている。

Q5. セッションごとの感想を教えてください。

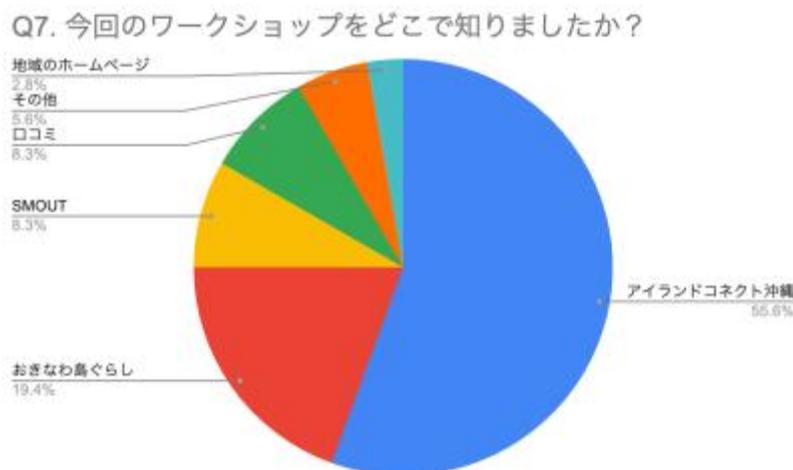


Q6. 移住に関して、ワークショップに参加して、参考になった情報としては、移住先の「日常生活の利便性」、「住居環境、移住先の人間関係」と回答した方が多かったことから、移住先での生活環境等に不安を抱いている様子が見えてきた。

Q6. 移住に関して、ワークショップに参加して、参考になった情報をすべて選んでください。



Q7. ワークショップの認知経路を調べたところ、「アイランドコネクト沖縄」が最も多く、続いて「おきなわ島ぐらし」が多い。少数ではあるが、SMOUT（移住関連のサイト）や口コミ経由、または地域のホームページで情報を得たケースも確認された。



※アイランドコネクト沖縄とは、沖縄県の離島住民を対象としたテレワーク人材育成とその就労環境構築をするプラットフォーム(離島テレワーク人材育成補助事業、離島 ICT 利活用人材等高度化補助事業にて沖縄県から補助を受けている)。その登録テレワーカーにワークショップの周知をおこなった。

Q8.は、自由回答形式で、ワークショップで今後取り上げて欲しいテーマについて意見を求めた。得られた意見は、以下のとおり。

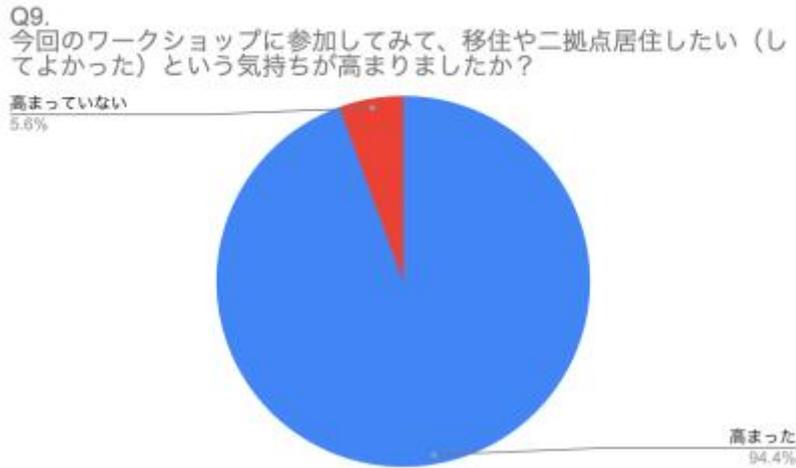
「Q8. 今回のようなワークショップで、今後取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください。」

- 移住した先での仕事や教育や福祉などの具体的な内容についての情報を知ることができるワークショップ
- - ・家と家賃相場の案内
 - ・公営住宅の案内と戸建てと賃貸物件
 - ・各自治体の行事などのアピール
 - ・各自治体で行われている古典文化や祭りの映像や動画公開
 - ・地域の特色をアピールできる素材も盛り込んでいただけるとイメージしやすいのかと思いました。
- 移住経験者とオンラインでカジュアルに自由に話すことのできる場や時間があると良いかと思いました。
- 移住先での生活と移住前での生活を比較して、家計の収入と支出のバランスがど

のように変化していったのかを、深堀して欲しい。

- ・移住経験者による移住してからの家探し・仕事探し・ご近所付き合い等
・詳しい内容で、いろんな地域の移住者とディスカッションしてほしい"
- 仕事がないイメージなので、仕事先の提供があれば尚嬉しいと思う。
- 起業などについて
- 素晴らしいワークショップでした。今後も、いろいろな離島・地域を紹介して欲しいです。
- WS ありがとうございます。実際に移住されている方々の生の言葉が聞けてとても良かったです。先輩の方たちの生活ぶりや情熱、楽しんでいる姿が印象的でした。今後、いろんな背景を持つ方々が住む場所を見つけるのをサポートしてもらえそうなワークショップがあるといいなと思います。また、沖縄の文化・風習を楽しく学べるものもある楽しそうです。たくさんのお話ありがとうございました！
- 老後に離島で暮らす
- 沖縄移住の成功例と失敗例を紹介してほしい
- 保育士として移住された方の体験談が聞きたいです。
- ・移住に関して子育て世代の体験談とかが多いので(たぶんターゲットがその辺りの層なんだと思いますが)、高齢者、単身者の移住の現実を知るものもあるとうれしい。
・買い物、娯楽(映画、音楽、ネット環境)について内地との違い(何はできるけど何はできない)がわかったのはよかったので引き続きあると移住を考える方にとって役立つと思いました。"
- 移住検討 - 決断 - 準備 - 移住完了のプロセスの中での考えたこと、相談したこと、悩んだこと、実行したことの紹介
- 沖縄本島や離島での仕事の紹介やビジネスチャンス、就業支援についてのワークショップがあると参考になる
- 観光ではなく一歩踏み込んだ離島ごとの特集があったらいいと思います。
- 単身者の移住について

Q9. ワークショップに参加して移住や二拠点居住したい（してよかった）気持ちが高まったケースが 94.4%であった。



以上のように、ワークショップへの参加者からの評価としては、以下の点を指摘できる。

- ワークショップの参加者は、すべてのセッションについて、極めて肯定的に捉えており、満足度の高いワークショップを提供することができた。
- 特に住んでみないとわからないこと（利便性、人間関係）について、参考になる情報を提供できた。
- もう少し限定的なテーマ（仕事、育児、福祉、単身者）のワークショップをおこなって欲しいという意見もあった。
- ワークショップに参加したことで、移住および二地域居住をしたい（してよかった）気持ちが高まったことが確認できた。（36人中34人で94.4%）

8.4 メール相談評価

第6章で報告した「先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築」について、メール相談の個票を検査し、離島・過疎地域への移住先での関心事である「生活」「仕事」「余暇」「子育て」「住居」「治安・災害・インフラ」「その他」の 카테고리ごとの相談状況を整理した。相談状況の結果は、以下のとおり。

地域	相談内容のカテゴリー						
	生活	仕事	余暇	子育て	住居	治安・災害・インフラ	その他
石垣市	5	3	0	1	2	0	1
宮古島市	1	0	0	2	3	5	0
北大東村	4	0	0	0	0	1	2
大宜味村	0	3	0	0	5	0	2

以上の相談状況の結果から、以下の点を指摘できる。

- メール相談の進捗状況を鑑み、受付時に質問できるような体制に改善した。
- メール相談をしたすべて方は、二拠点居住ないし移住を検討中の方だった。移住前の生活や住居について不安が大きいことがわかった。
- 関東からの問い合わせが最も多く、次いで北海道からの問い合わせ多かった。関東や北海道を中心としたPRも有効と言える。
- 寄せられた全ての質問に対して、問題無く回答がなされた点で、メール相談は、当初の想定どおりに順調に実施された。

8.5 PR 記事・動画の閲覧

第3章「PR 動画及び記事の制作・発信」で報告したPR 動画・記事を評価するために、先輩移住者を対象としたアンケート調査を実施した。アンケートの調査項目は、以下のとおり。

8.5.1 先輩移住者記事

- 回答者：県内に住む先輩移住者
- 回収サンプル数：サンプル数 31
- 調査実施時期：2025年1月
- 調査項目：
 - Q1 名前（省略）
 - Q2 性別

Q3 年代

Q4-1./5-1./6-1. 移住への関心の変化

Q4-2./5-2./6-2. 有益な情報を得たか

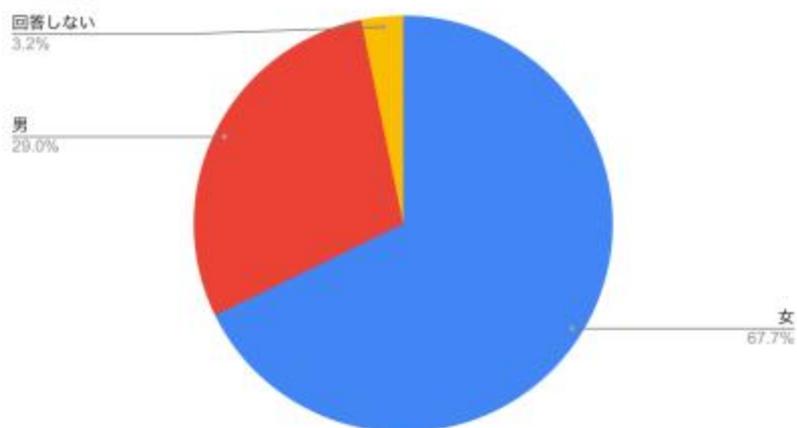
Q4-3./5-3./6-3. 不安や悩みの解消

Q4-4./5-4./6-4. 知りたい情報

Q1. 名前（省略）

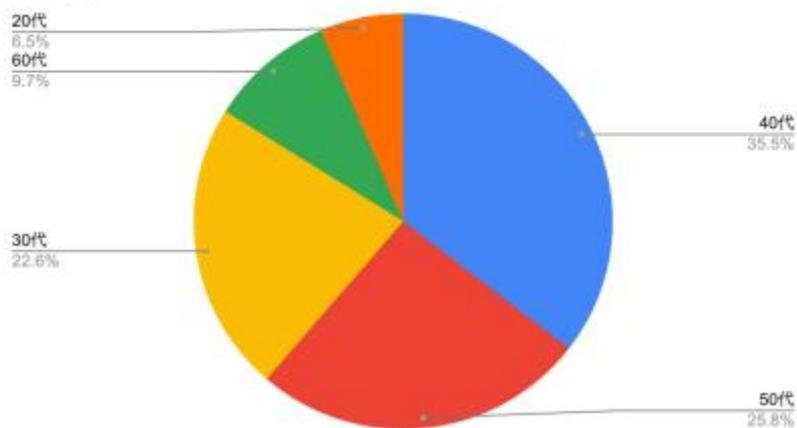
Q2. 性別 回答者は女性の方が多い（67.7%）。

2. 性別



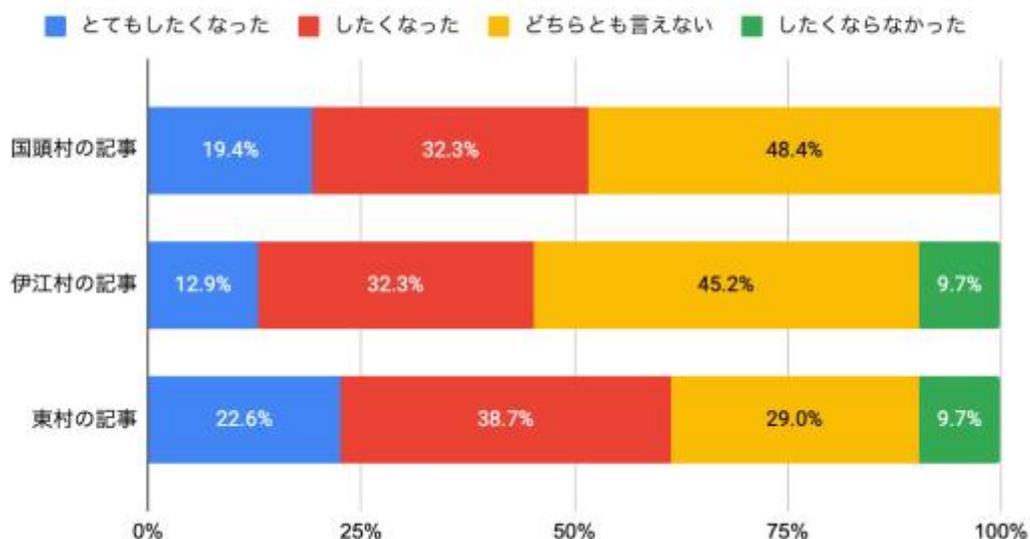
Q3. 年代 回答者の年齢は、40代が35.5%、50代が25.8%、30代が22.6%、60代が9.7%、20代が6.5%である。

3. 年代



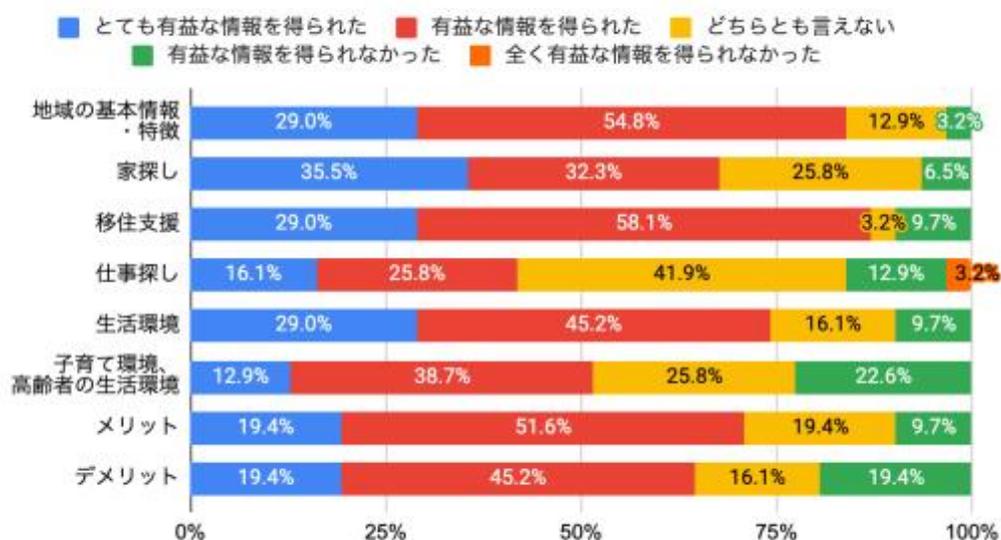
Q4-1./5-1./6-1. 記事を読んで移住への関心が高まったかどうかを調査したところ、国頭村、伊江村、東村のいずれも、半数前後のケースで関心が高まった。

4-1./5-1./6-1. 記事を読んで移住をしたくなりましたか？



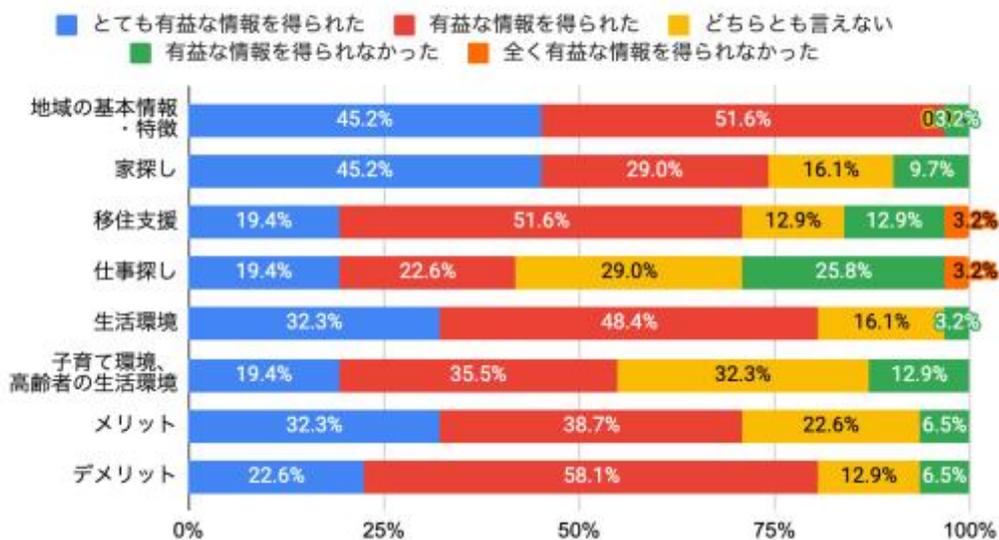
Q4-2. 国頭村に移住するにあたり、有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の基本情報・特徴、移住支援に関して特に有益な情報が得られたという回答が多い。

4-2. 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



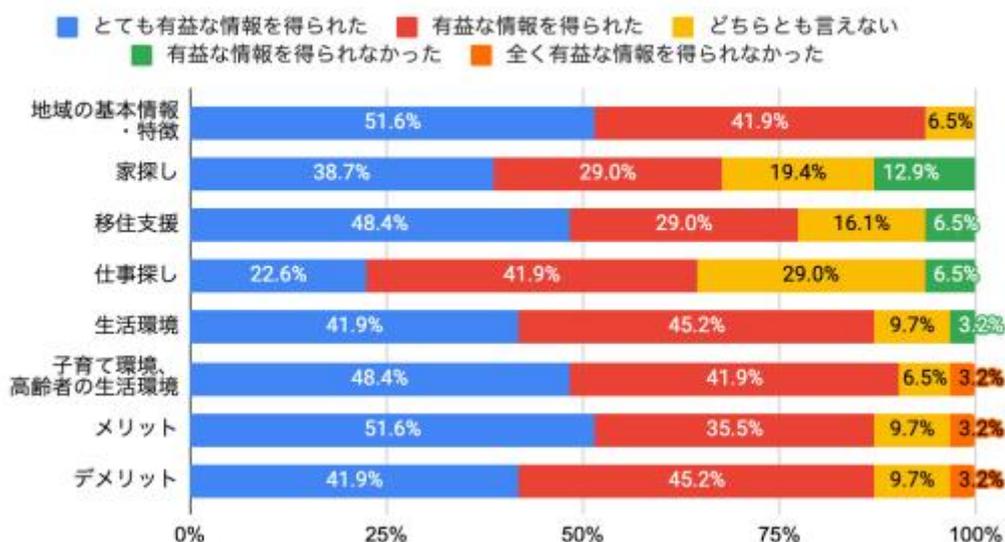
Q5-2. 伊江村に移住するにあたり、有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の基本情報・特徴、生活環境、デメリットに関して特に有益な情報が得られたという回答が多い。

5-2. 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



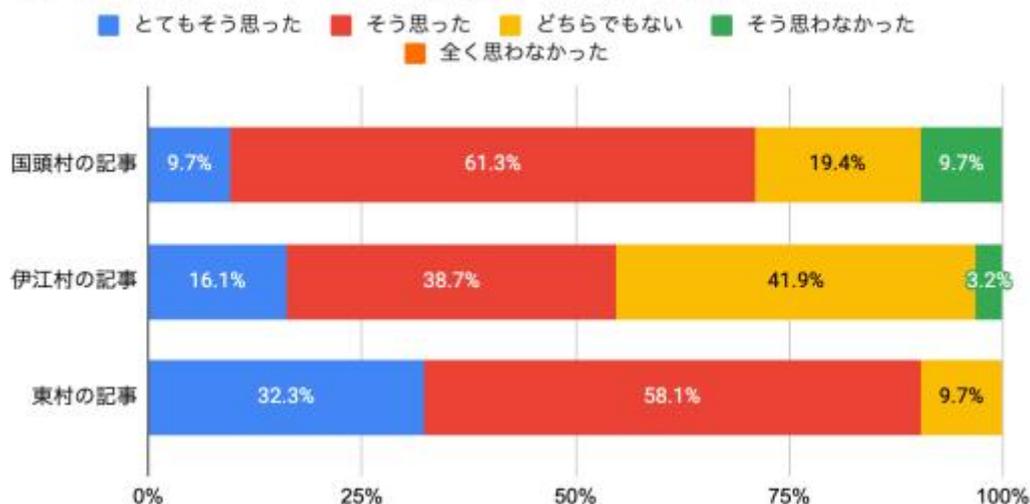
Q6-2. 東村に移住するにあたり、有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の基本情報・特徴、移住支援、生活環境、子育て環境・高齢者の生活環境、メリット、デメリットに関して特に有益な情報が得られたという回答が多い。

6-2. 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q4-3./5-3./6-3. 移住するにあたり、東村の記事が不安や悩みが解決する内容であるという回答が最も多かった。

4-3./5-3./6-3.
移住を検討する人の不安や悩みが解決する内容でしたか？



Q4-4. 国頭村の記事に書かれている内容以外に、知りたい情報についての意見を求めたところ、以下の意見が寄せられた。

4-4. 書かれている内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。

- 各項目において具体的な事例が少なかったように感じます。
- 台風については言及がありましたが、気候や暑さなどについて移住前は不安だったので、その情報もあると助かると思います。また、通販も使えると書いてありましたが、移住前は送料が心配でした。
- 沖縄北部は何度も行った事がありますが、住むとなると大変な事が想像できません。そこら辺をもう少し詳しく話されると良いかもしれません。なんせ田舎なので、生活をする上でより困ることはある印象です。
- 保育園の情報
- 子供の通学方法について。1校しかない中学校までの距離感や隣村の高校までどのように通うのかがわからなくて子供の将来が少し不安
- 地域のイベントや集落内清掃などの情報収集は地域交流以外でどのような手段があるか。例えば、ローカルラジオ、集落内放送、広報誌等
- 仕事に関しては、何も記載がなかったです。移住者にとって、家の次にどんな仕事があるのか情報が必要だと思います。
- 妊婦さんや乳児のいらっしゃるご家族移住者向けに、子育て支援にはどのような

ものがあるのかあればいいと思いました。

例)産婦人科の有無、保育園や支援センター、支給手当の有無など

- 買い物の具体的な様子（店舗の写真など）。診療所の実態。名護との公共交通の様子。高齢になって運転ができなくなった時の支援策はあるか。
- 言葉の違い(方言)等は、支障なかったでしょうか？
- この方は単身で移住したのか
子どもの教育環境をもう少し詳しく
台風については不安があるので、この方の体験だけでなく厳しい意見も知りたい
- 具体的な子育て事情(小学校や支援施設)。
- 村内の年齢構成が書かれていれば良かったと思いました。
読んでいると若者が少ない感じがして、実際のところが気になります。
- どのような家に住んでいるのか、間取りや築年数、それに見合うような家賃なのかをもっと詳しく知りたかった。
- 仕事があるという漠然とした書き方をされていましたが、実際にどれくらいの年収が得られるのか、また年齢が高くても仕事があるのか、実際にどういう仕事があるのか。ということが書かれていたら良かったと思います。
- 空港へのアクセスについて。国頭は空港からのアクセスを考えると、非常に不便な立地だと思うが、その点での工夫などがあるとよりいいと思った。
- 買い物についてももう少し詳しく情報があればと思った。例えば、名護市内に行けば大型施設もあるので不便はないなど。
- 地域おこし協力隊は応募するにあたって審査があり、期限付きの雇用条件です。一般的な移住希望者には馴染みが薄い職業の選択肢であると思います。ぜひ地域に根ざした一般的な職業についている方のトピックをお願いします。そちらの方が肌感覚でより移住希望者の興味を引きつけることができると思います。
- ・国頭村の面積
・人口構成（子供達、青年、お年寄りなどどれほどの割合なのか知りたい）
・住宅環境について、ほぼ満室、住宅不足とのことで、今後住宅不足が解消されていく見通しがあるのか（移住してから住宅を探すことが難しければ移住は考えられない）
・仕事はどのように探すのか？公的機関があるか？
・仕事は見つけられそうだが、生活に十分な収入を得ることができるのか？この方のように不動産業の経験があるとか、手に職がないと移住しても安定した生活ができるという情報があまりないので移住に不安を感じてしまうのでそれを払拭できるような情報
・隣の村の高校までの所要時間（実際に通える距離か）
・福祉系の事業所はあるとのことですが、入居が可能なのか？

- ・国頭村の人々についてのもう少し詳しい情報（うまくやっていけるのか、受け入れてもらえるのかという不安を解消できるような情報）

- ・気候について

- 地域住民との人間関係、地域の行事ごと

Q5-4. 伊江村の記事に書かれている内容以外に、知りたい情報についての意見を求めたところ、以下の意見が寄せられた。

5-4. 書かれている内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。

- 移住を決めた具体的な理由。家族の理解をどう得たか。
- この方は農業に携わっているようでしたが他に伊江島のどんな働き口がありそうかイメージできなかったなのでその情報もあると良いと思います。
- 伊江島には特産や沖縄の中でも何か変わったイベントなどあるのでしょうか？あるのであればそこら辺をもっと知りたいです。
沖縄の中でも島への移住は大変そうだな。という印象を、持ちました。
- 保育園の情報
- デメリットの部分が多いように感じた。伊江島ならではの魅力をもう少し知りたい。
- 福祉施設はあるが、病院や診療所の有無
- 移住者の仕事に関する情報がないので、島でどんな職種があるのか、就職先があるのか情報があれば良かったと思います。
- 特にありません。島ならではの良し悪しが伝わりました。
- 移住するとして、どのような仕事があるのか。
- 女性目線の回答もあってうれしい
- 病院など医療を受ける環境
この方の年齢（何十代か）
お父さまは一緒に移住したのかそうでないのか
- 島ならではの農業の苦労
- 仕事について、産業は多く語られていましたが、商業についてもふれてほしかったなと思います。
- 私は農業には興味がないので、伊江島に移住しようと思った場合 自分が生活できるための仕事はないのかな？と思いました。
- 物価が高いとの記載があったので、書いてあった仕事の日当で実際に生活ができていたのか？が知りたいと思いました。
- 病気療養の為に沖縄に移住して島の自然や島人と触れ合いながら、穏やかな生活を楽しんでいる移住者の方は沢山おられます。

もちろん内地の収入に比べれば手取りは減りますが、地域に根ざした職業を選択することによって高齢化が進む離島では地域の活性化に繋がりますし、地域の伝統行事の担い手にもなる良い事例であると思いました。

- ・面積
- ・フェリー運行の頻度
- ・人口構成（子供達、青年、お年寄りなどどれほどの割合か）
- ・住宅環境について、根気よく待つしかない現状は今後も続くのか（そもそも家が見つからなければ支援制度があっても移住できない）
- ・車の修理は島内で可能か？
- ・農業や漁業以外の仕事はあるのか？
- ・移住後の生活に十分な収入を得るための仕事を探すことは可能か？
- ・保育所はあるか（子どもを預けて働ける環境はあるか？）高校についての情報（通える高校があるのか？）
- ・医療施設についての情報（島にない場合には最寄りの医療施設に関する情報も含めて）
- 地域住民との人間関係、地域の行事ごとについて。

Q6-4. 東村の記事に書かれている内容以外に、知りたい情報についての意見を求めたところ、以下の意見が寄せられた。

6-4. 書かれている内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。

- たまたま住む場所が見つかった方が多いようですが、家が見つからなければ移住はできません。家探しや仕事のポイントやかかる時間など、移住促進のインタビューであれば、大前提部分の掘り起こしが必要。
- 子育て世代にとっても参考になる方法が多くて良かったと思います。台風の影響についても具体的に良かったです。本島中部から移住した方なので内地との違いについて触れられていないのは仕方ないかなと思います。
- とてもイメージしやすかったです。
ご家族の写真や暮らしのイメージがつかめたので、北部でも生活できるのではないか。と思いました。
- 農業以外での就労支援について。
- 東村の情報を、浅いが幅広く記載されていて良かった。強いて言えば、子持ち世帯の内容だったので、大人だけの世帯に関しての病院や娯楽の情報。
- 自営業や農家さん以外はどんな職業に就いているのか知りたいです。
- 公共交通の様子（コミュニティバス：自家用車なしで生活は可能か）。高齢者支援・サービスの内容。

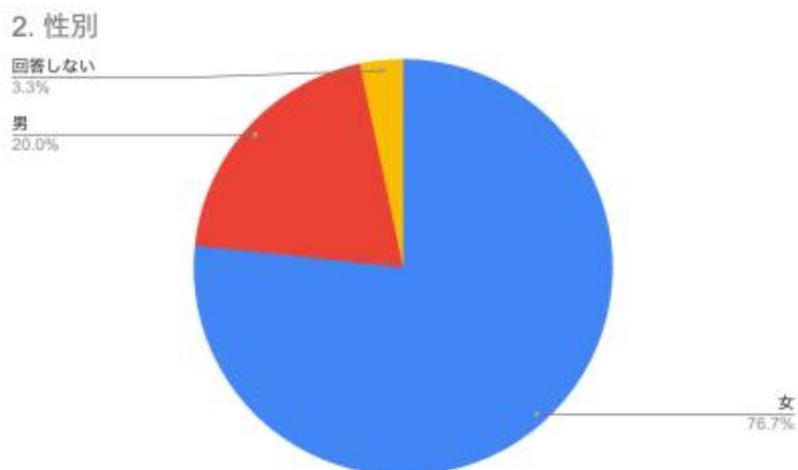
- 高校は自宅から通えるのかなど進学事情
- 具体的な仕事環境
- 自営で経営できる人は移住しても生きていける、でも何か仕事をもらって住み続けることは難しいのかな・・・と思いました。自営ではなくて生きるすべはあるのか、知りたかったです。
- 農業以外のお仕事情報が書かれているといいなと思いました。(農業以外はほぼないという話であれば、いっそのことその記載をした方が分かりやすいと感じました)
- 便利なうるま市での生活環境から転じて東村での生活は、都会的な感覚からすると不便かもしれませんが、それ以上に得るものの多い精神的な豊かさを享受して毎日の暮らしを楽しんでいると記事を拝見して感じました。
たいへん読み応えがあり、移住希望者の参考になる記事であると思います。"
- ・村民の人口構成
・住宅環境（賃貸住宅の状況など）
・農業や伝統工芸以外の仕事の情報（少ない中でも）"
- 地域住民との人間関係、地域の行事事についての情報。

8.5.2 PR 動画

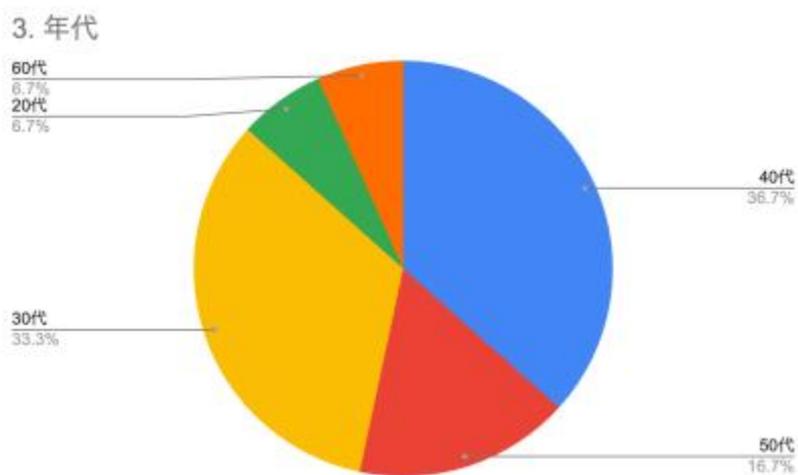
- 回答者：県内に住む先輩移住者
- 回収サンプル数：サンプル数 30
- 調査実施時期：2025年2月
- 調査項目：
 - Q1. 名前（省略）
 - Q2. 性別
 - Q3. 年代
 - Q4-1./4-2./4-3. 有益な情報を得たか（伊平屋島）
 - Q5-1./5-2./5-3. 有益な情報を得たか（伊江島）
 - Q6-1./6-2./6-3. 有益な情報を得たか（多良間島）
 - Q7-1./7-2./7-3. 有益な情報を得たか（東村）
 - Q8-1./8-2./8-3. 有益な情報を得たか（大宜味村）
 - Q9-1./9-2./9-3. 有益な情報を得たか（北大東島）
 - Q4-4./5-4./6-4./7-4./8-4./9-4. 移住したくなったか
 - Q4-5./5-5./6-5./7-5./8-5./9-5. 移住の不安・悩みの解消
 - Q4-6./5-6./6-6./7-6./8-6./9-6. 知りたい情報

Q1. 名前（省略）

Q2. 性別 回答者は、男性（20.0%）、女性（76.7%）、回答しない（3.3%）の割合である。

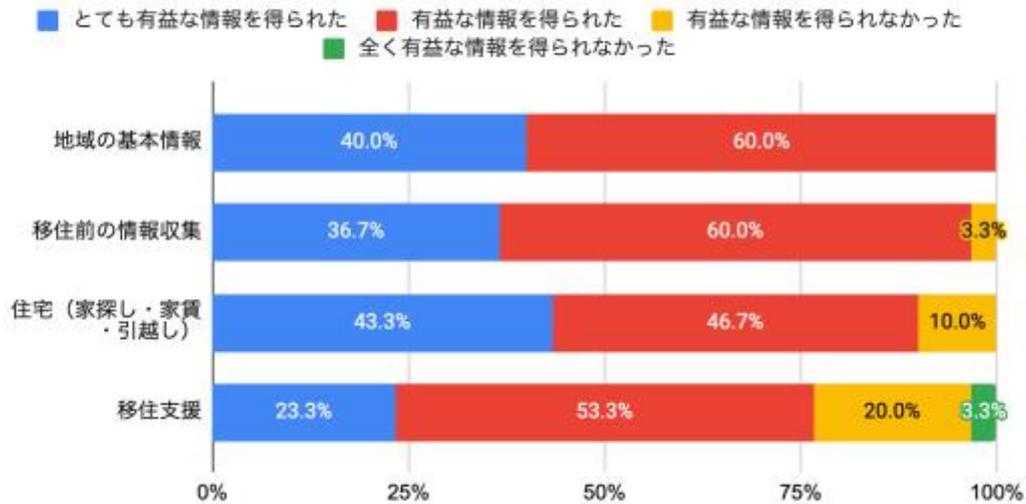


Q3. 年代 回答者は40代（36.7%）が最も多く、30代（33.3%）、50代（16.7%）がそれに続き、20代（6.7%）、60代（6.7%）は少ない。



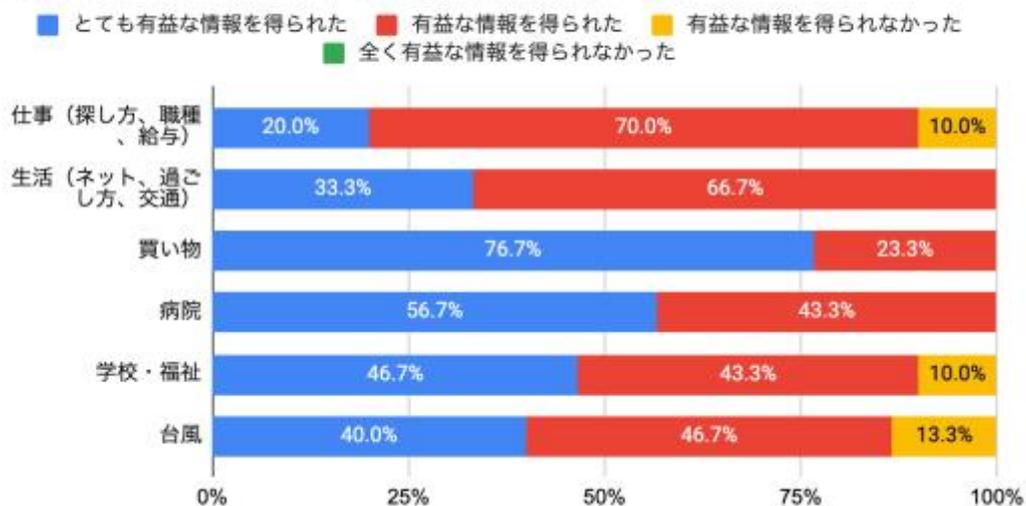
Q4-1. 動画（伊平屋島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

4-1. <伊平屋島1本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



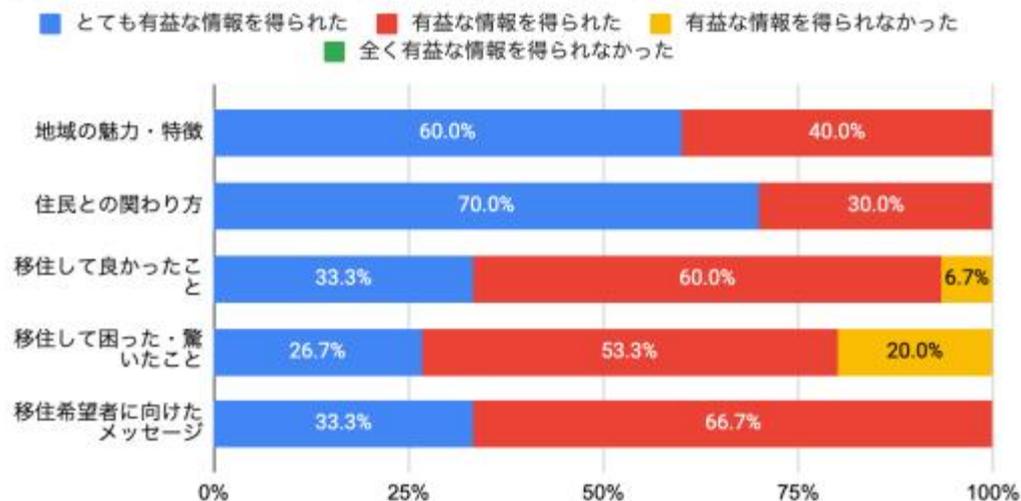
Q4-2. 動画（伊平屋島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

4-2. <伊平屋島2本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



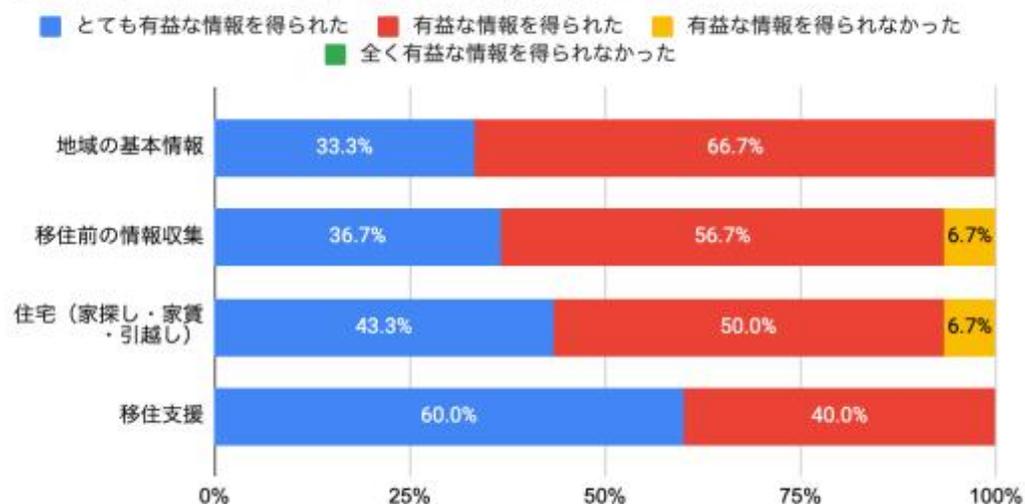
Q4-3. 動画（伊平屋島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

4-3. <伊平屋島3本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



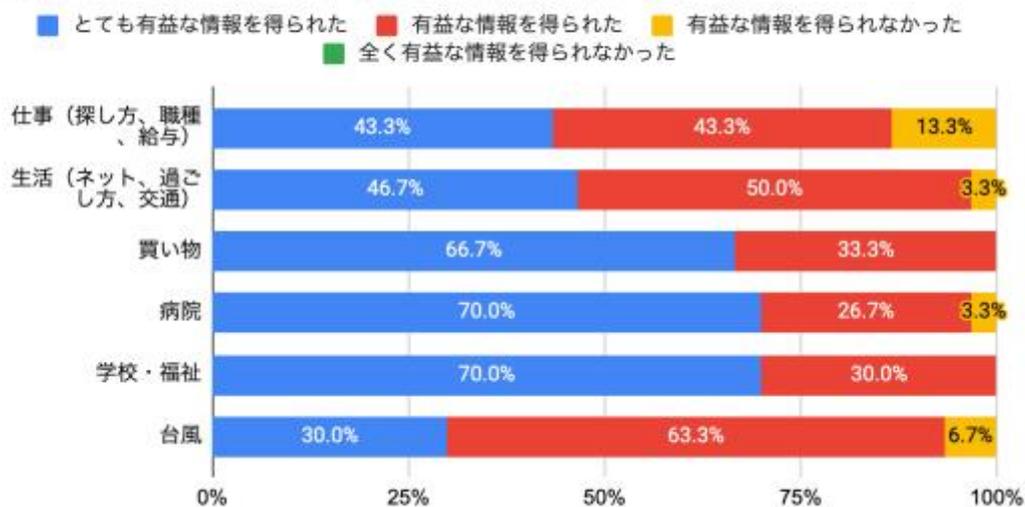
Q5-1. 動画（伊江島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

5-1. <伊江島1本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



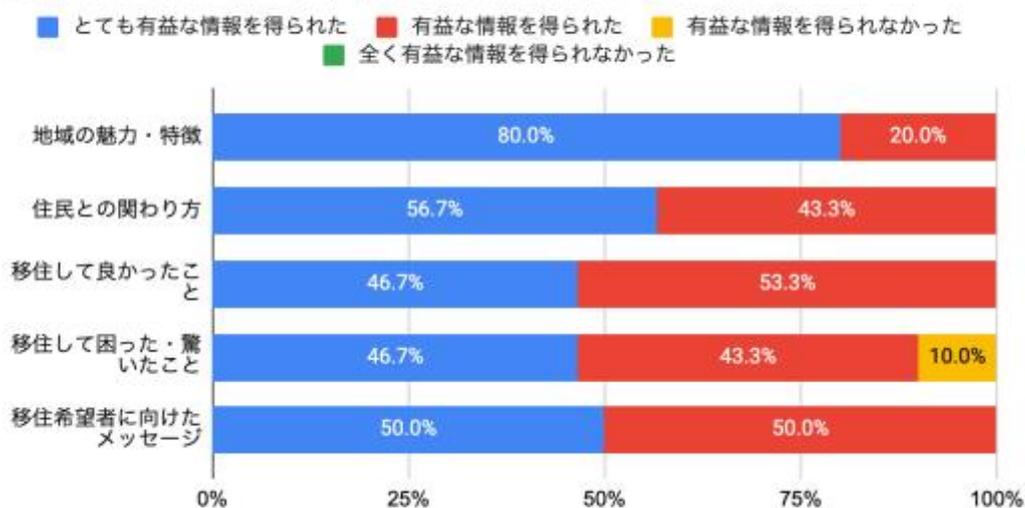
Q5-2. 動画（伊江島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

5-2. <伊江島2本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



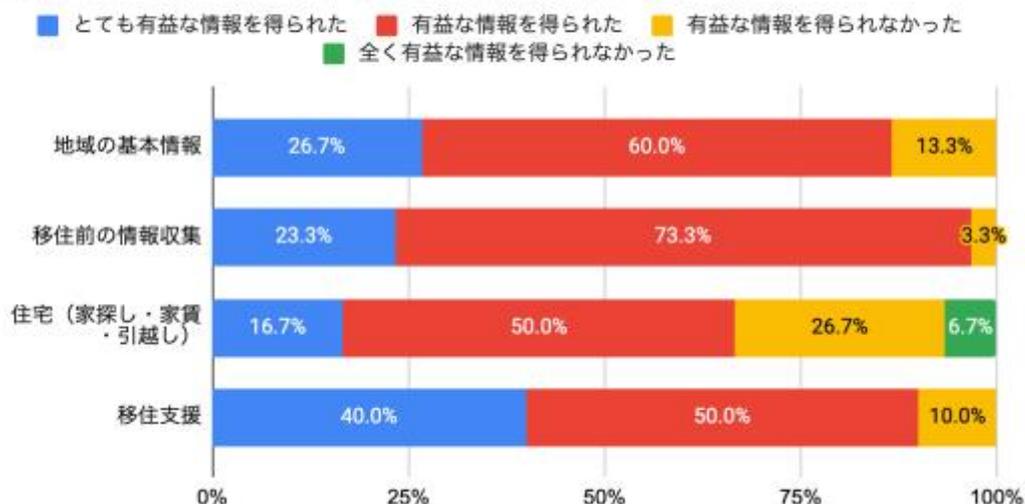
Q5-3. 動画（伊江島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

5-3. <伊江島3本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



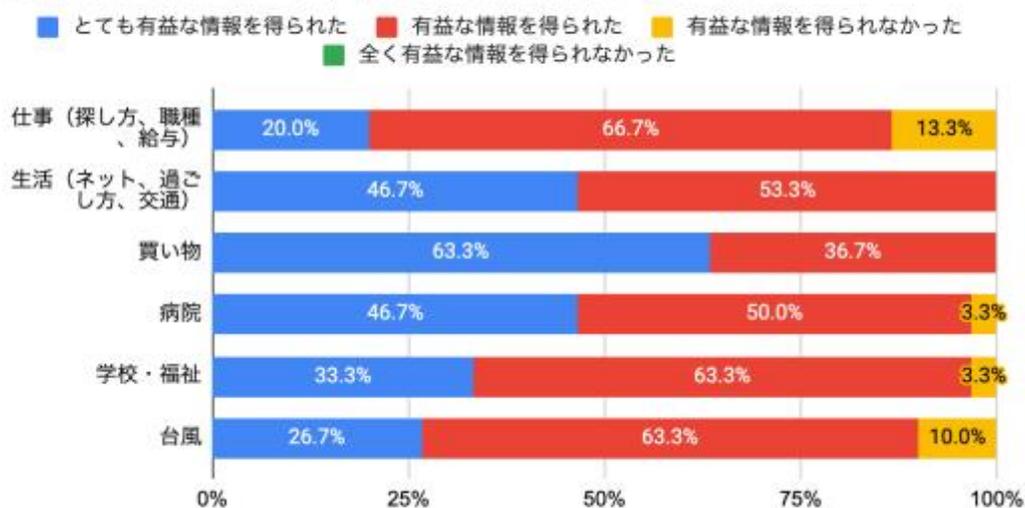
Q6-1. 動画（多良間島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目に関して幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。

6-1. <多良間島1本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



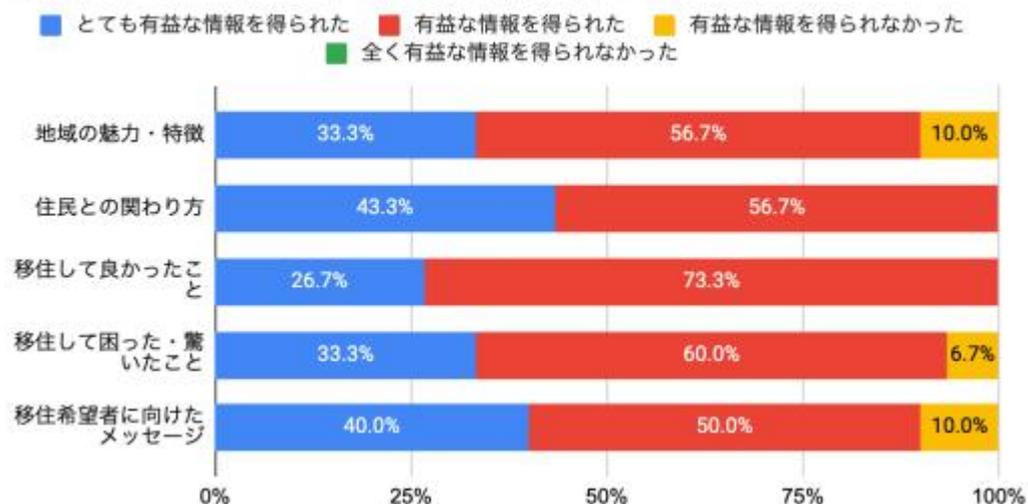
Q6-2. 動画（多良間島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

6-2. <多良間島2本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



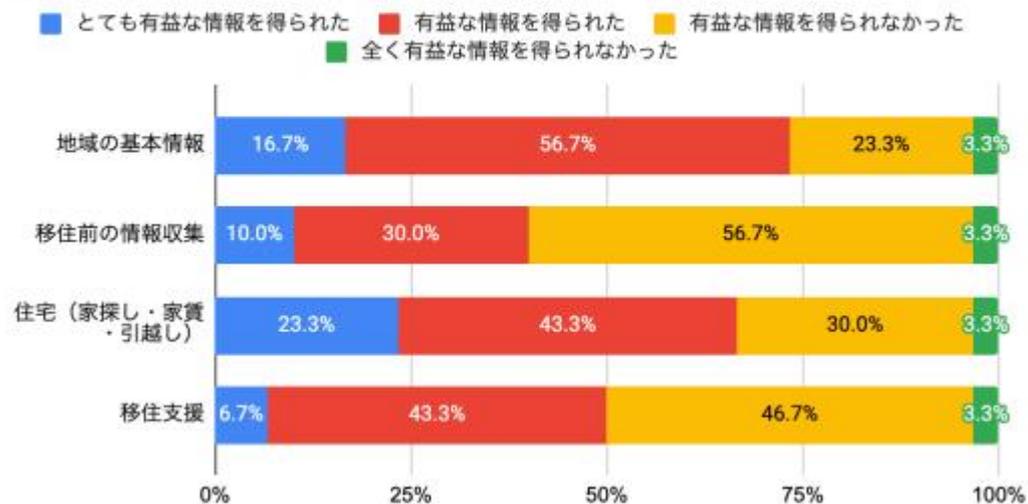
Q6-3. 動画（多良間島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

6-3. <多良間島3本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



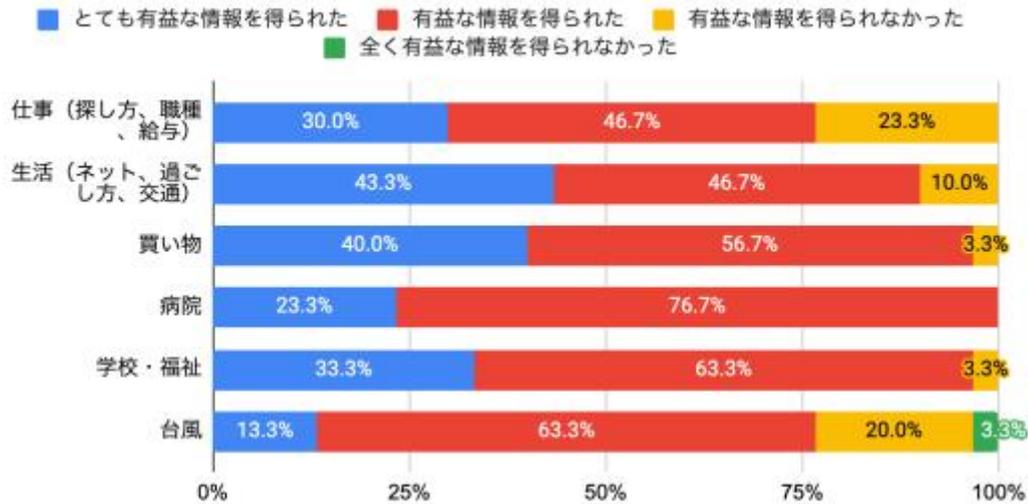
Q7-1. 動画（東村：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の基本情報と住宅に関しては比較的有益と感じられているが、移住前の情報収集と移住支援に関しては情報の充実が求められた。

7-1. <東村1本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



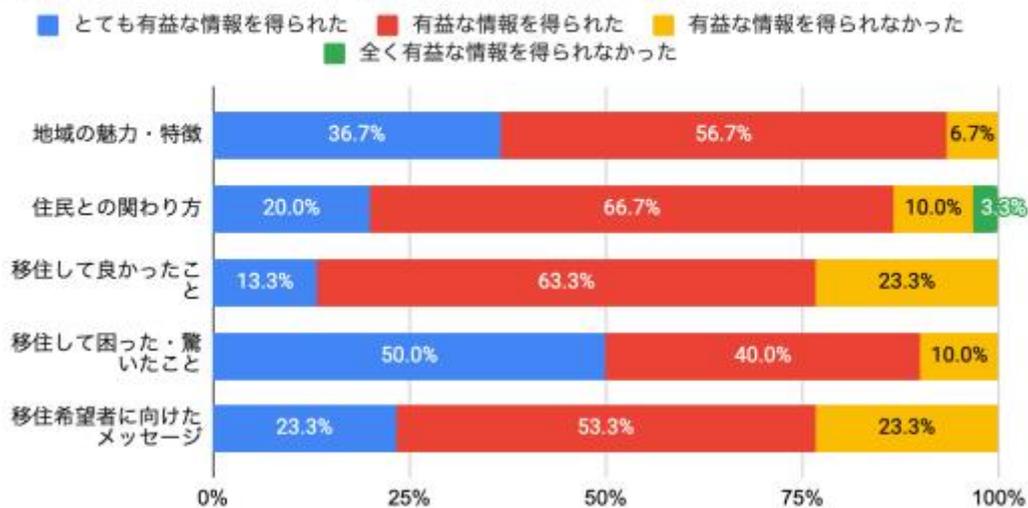
Q7-2. 動画（東村：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

7-2. <東村2本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



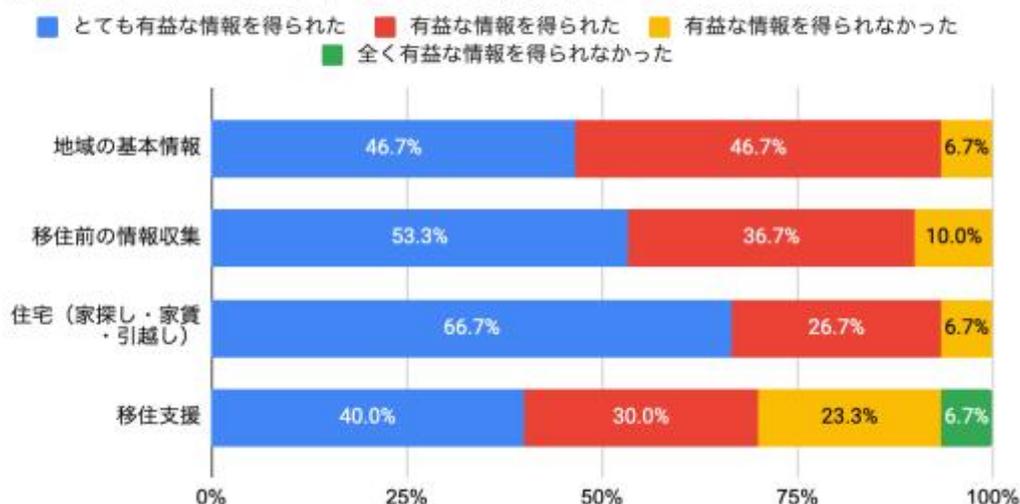
Q7-3. 動画（東村：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

7-3. <東村3本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



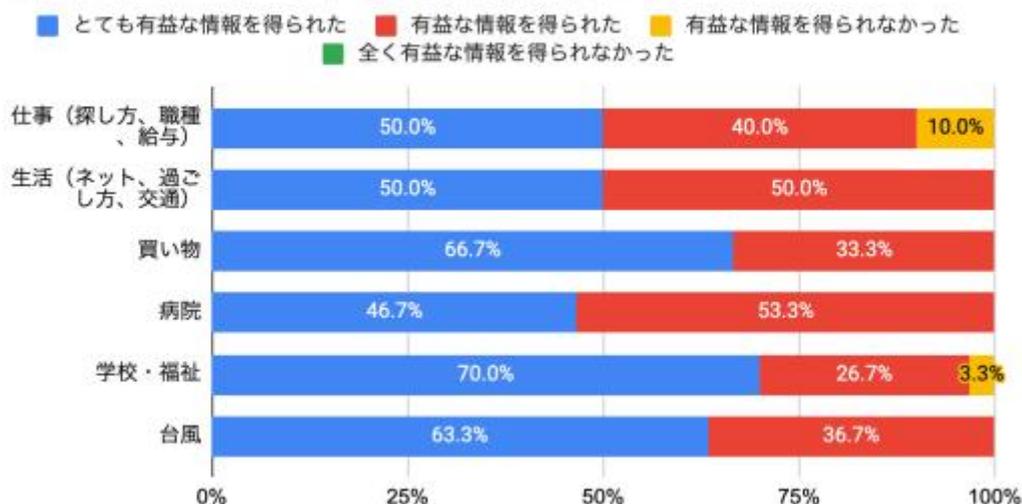
Q8-1. 動画（大宜味村：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の基本情報、移住前の情報収集、住宅（家探し・家賃・引越し）に関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

8-1. <大宜味村1本目の動画>
移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



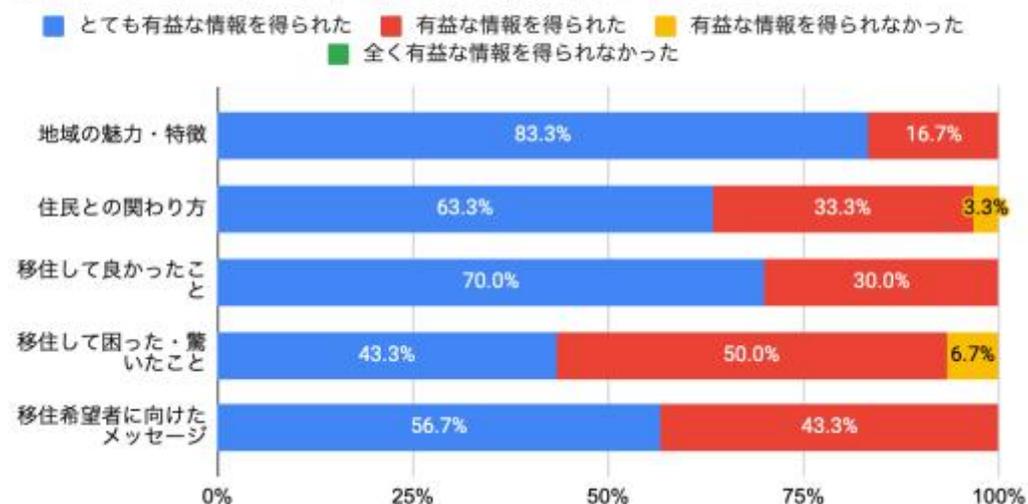
Q8-2. 動画（大宜味村：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

8-2. <大宜味村2本目の動画>
移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



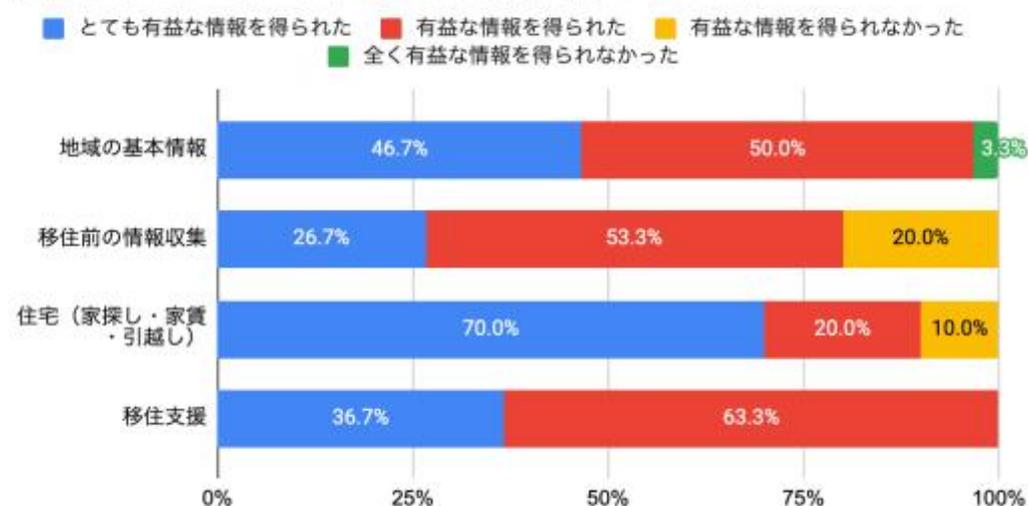
Q8-3. 動画（大宜味村：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

8-3. <大宜味村3本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



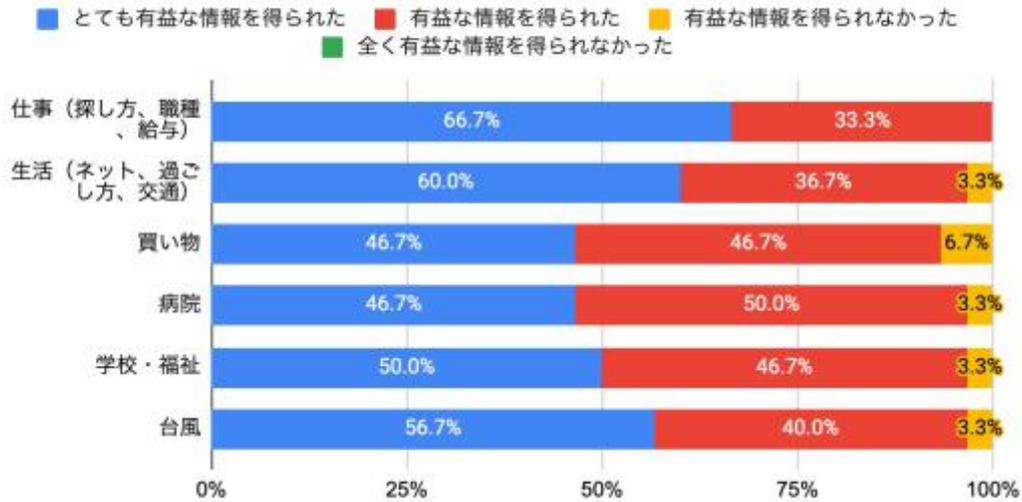
Q9-1. 動画（北大東島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

9-1. <北大東島1本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



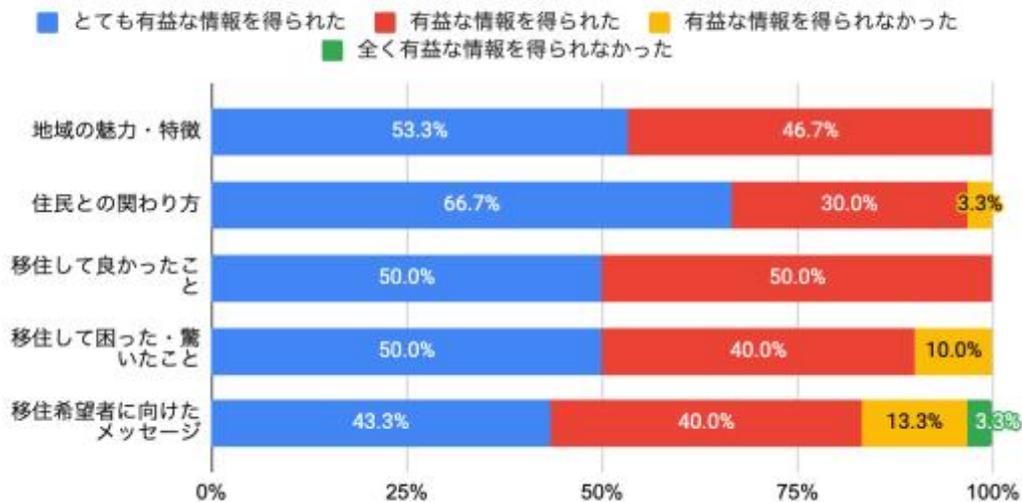
Q9-2. 動画（北大東島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

9-2. <北大東島2本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



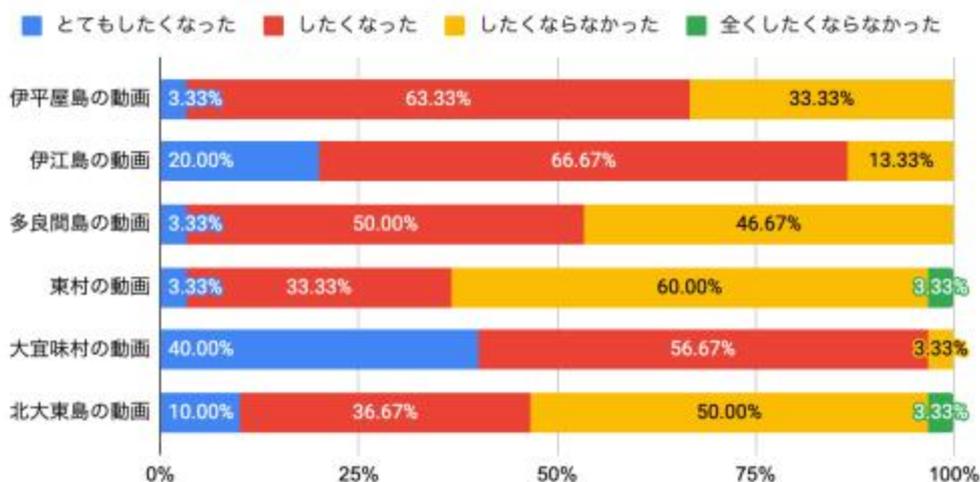
Q9-3. 動画（北大東島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答がなされた。

9-3. <北大東島3本目の動画> 移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



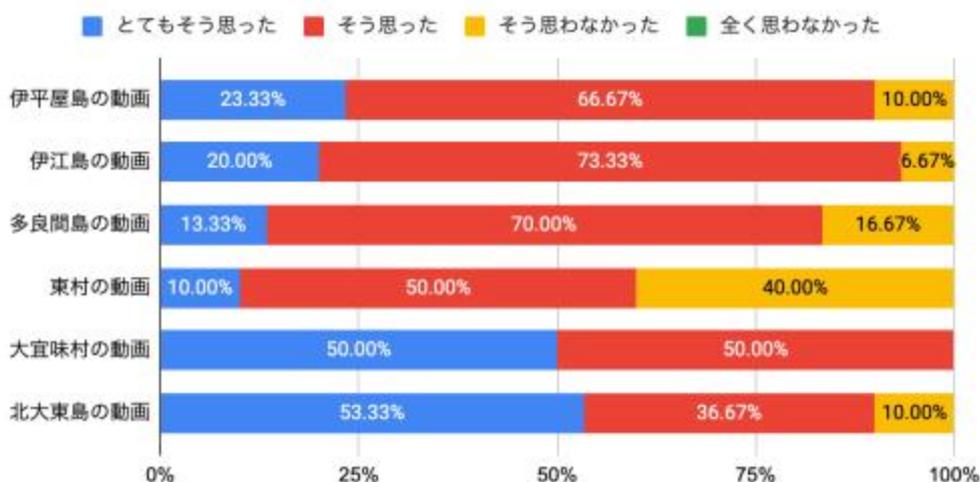
Q4-4./5-4./6-4./7-4./8-4./9-4. 動画を見て移住したくなったかどうかを調査したところ、大宜味村、伊江島、伊平屋島、多良間島の動画について肯定的な回答が否定的なものを上回っており、特に大宜味村、伊江島の動画について、そうした気持ちがより高まったことがわかった。

4-4./5-4./6-4./7-4./8-4./9-4.
移住をしたくなりましたか？



Q4-5./5-5./6-5./7-5./8-5./9-5. 動画を見て移住の不安・悩みの解消ができたかどうかを調査したところ、どの地域の動画についても肯定的な回答が否定的なものを上回っており、特に大宜味村、伊江島、伊平屋島、北大東島、多良間島の動画について、そうした気持ちがより高まったことがわかった。

4-5./5-5./6-5./7-5./8-5./9-5.
移住を検討する人の不安や悩みが解決する内容でしたか？



Q4-6./5-6./6-6./7-6./8-6./9-6. 動画に含まれていた方がよかった知りたい情報について調べたところ、各動画（地域）に以下の意見が得られた。

4-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。（伊平屋島の動画）

- 子供に関係する事詳しく、内地との違い、知らなかった事等
- 仕事の具体的な探し方、住まいの探し方
- 伊平屋島という島を初めて知りましたので、他の島との違いや魅力が明確だと、より住みたいと思えるのではないかと思います。
- インタビューだけではなくて、実際に島で暮らしている様子が見たかったです。
- もう少しデメリットを具体的に取り入れた方がいいと思いました。
- 島ぐらしビデオ全般にですが、支援サービス、組織・団体、SNS アカウントなどに動画視聴中に即飛べる QR コード表示があるとより深く掘り下げられると思います。
- 移住前に家を決められる方法はないのか。診療所は内地では救急車が必要なような重症の場合にも対応できる環境なのか。お子さんの移住に対する思い。など。
- 全体的に様々な情報があり、最初に知りたい情報としてとても良かったです。他の移住者の住宅・仕事など島でどのように暮らしているのかも少し聞きたかったです。
- 仕事の面を深く知りたいと思いました。どんな職業、仕事が島にあるのか、移住開業と移住就業との違いで島の方達との関係性が違っているのかなど
- 本島との船の便数、島の大きさ（縦長の上から下まで車で何分ぐらいなど）、人口の構成（高齢者や子供、若者の割合）、台風の頻度、他の島の情報をもう少し欲しかった。島のイメージを掴めるような風景などももう少しあってもいいかなと思いました。役場など最新の情報もあつたらなお良かったと思いました。
- 伊平屋の島の景色など、どんな所なのかもっと映像でみたかったです。
- 地域に住む人々の写真が全くなかったので、行事や交流の様子があればよかった
- ①島内には中学校までしかないと思いますが、進学時など離島ならではの補助や事前情報などがあれば嬉しいです
- ②ネット環境は、スマホ以外（自宅用回線）もありますでしょうか
- ③「お試し居住」はとても良い策だと感じました、アパートなどの数は少ないのでしょうか
- 小さい子供が過ごせる場所の有無（例えば、図書館や子育て支援センター、学童、児童公園があるか、など）
- 台風で停電や水が止まった際、（規模にもよりますが）復旧まで時間がかかるか。ネットの環境について。

- 島の人たちの助け合いが大事と感じた
- 全体的に話しが分かりやすくてよかったです。もう少し話しの内容についての地域の写真とか映像があったらイメージがしやすくていいかなと思いました。
- 島の風景や様子が分かる写真やビデオ
- 小さな子がいる生活を視点にしてほしいと思います。医療だったり、子育て支援だったりを知りたい人はいると思いました。
- 地域で物事がどのように決められるのか、紹介があったらよかったです。また、動画の概要欄に、情報源サイトのリンクを貼っていただきたいです。
- 島の伝統行事やイベントについての内容が増えれば、伊平屋島独自の魅力をより伝えられると史料します。
- コープを利用しない人の食糧調達や子どもの文房具買い足し等不安に思ったので、スーパーと文具が買えるお店がどのくらいあるか。台風時の停電と停電するならば復旧までの期間が分かれば内容に欲しいです。
- この方の語り以外にも画像や動画があるともう少し臨場感を持ってみられたかなと思います。
- 島の各集落の風景や街並みが映っていれば良かったなと思いました。

5-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(伊江島の動画)

- ガソリンなど食材の物価、内地との違い、本島との違い
- リモートワークしている人の事情、割合、マリンスポーツの楽しみ
- 海が綺麗なところが最大の魅力ということで、若い方向けに海の仕事や海での遊び等、もっと知れたら良いと思いました。
- 頼れる親族のいない離島で、仕事と家事育児だけではなく、学業も両立されていて凄いと思いました。資格取得のための村からのサポートがあるのでしょうか。
- 移住してからの悩みの部分をもう少し具体的にに入れて、どう乗り越えたかを話してもらえるといいと思いました。
- 伊江島は本島へも近く移住へのハードルが低いように思いますので、さらに間口を広げるためにも、子育て世代以外の移住者の方々についても含まれていると良いと思います
- “役場の人に見つけてもらう”以外の家探しの方法
- 実際にどういう事があって、ポジティブに考え乗り越えたのか具体的な話が聞きたかったです。
- 本島との船の便数、島の大きさ（一周すると車で何分ぐらいなど）、人口の構成（高齢者や子供、若者の割合）、台風の頻度など
- 旦那さんや息子さんの声も聞いてみたいと思った。美容関係の施設はどのくらい

あるのか気になった。

- 特に不足は感じませんでした。「移住コーディネーター」の存在が知れたのは大きかったです。
- イメージしやすく分かりやすく良かったです。
- 移住コーディネーターの方がいるという情報がとても心強い存在だと感じました。

子連れ世帯には充実した内容になっていました。

那覇への移動手段が知れて良かったです。

職探しについての情報、台風の情報は助かります。

- 地域で物事がどのように決められるのか、紹介があったら良かったです。また、動画の概要欄に、情報源サイトのリンクを貼っていただきたいです。
- 空き家はあるというお話でしたが実質的に即入居は難しいということで、アパートの入居状況についてもっと知りたいと思いました。
- 手に職が無い人が移住して仕事を探した時に、家族の生計を立てて行けるような就職先があるか気になりました。島内で探せるものなのかが内容にあればと思います。買い物事情も詳しくあったので、さらに食料品で県外との物価の違いもあれば参考になると思います。
- 島内での娯楽に関する情報が少なかった気がするので、そのあたりがわかるといいと思いました。
- 島内の物価、本島との違いはあるのか

6-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(多良間島の動画)

- 主婦目線、学校事情や、高校の事
- 荷物が多い場合の引越し
- 島の小ささと人間関係の近さがどちらかというとなegativeな特徴のような印象を受けたので、不安にならずpositiveな面になるよう、移住者コミュニティ(があれば)や移住コンサルティングについても情報が含まれていると良いと思います。
- 地域で子供を見る風習なのは分かったが、預けられるサービス(他で言ったらファミリーサポートなど)や施設がないのか知りたい。
- 家と仕事のハードルが高い島なので、地域協力隊等の家と仕事がある人でない移住者の話が知りたかったです。
- 物資や移動に島民割があるのか、あったら内容を知りたい
- 本島との船と飛行機の便数、人口の構成(高齢者や子供、若者の割合)、台風の頻度など

- ①台風通過後など、各インフラはどれくらいの期間で回復したのか（断水の頻度や、ネット復旧）
- ②飛行機・フェリーなどの島民割的なものはあるのでしょうか
- いい島なのは分かりましたが、多良間島がどんな島なのか少し想像しづらかった。
基本情報や、地域おこし協力隊以外の移住方法だったり、産業や伝統行事などもう少し色々聞きたかったです。
- 島独特の文化や伝統行事の紹介
- オトーリの説明の時、解説があるとわかりやすいのかも。
- 地域で物事がどのように決められるのか、紹介があったらよかったです。
また、動画の概要欄に、情報源サイトのリンクを貼っていただきたいです。
- 住宅事情について、役場等に相談窓口があるのか等の情報を知りたいと思いました。また、通販の送料等についても情報があればよかったです。
- 一軒家には不安があるので、アパートも探せるのか内容にあればと思います。
- 仕方ないことではありますが、地域おこし協力隊のお仕事以外のお仕事事情がもう少しわかるとよかったです。
- 中学卒業後の進学先についての内容

7-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。（東村の動画）

- 休日にどういうことをして楽しめるのかなど、自然でのアクティビティ等あれば内容を知れたら良いなと思いました。
- 村のイベントなどは実際の動画があるといいなと思いました。
- 村内放送と地元にいる方と繋がっていく事が重要なようなので(特に登場された方はUターンの地元ご出身のため)、移住コーディネーター/コンサルタントのような方やサービスがあればビデオ内で紹介されるといいと思います
- Uターンではない移住者の支援はないのか。子育て情報が少ない。
- 東村はジャングルの近くなので、内地の人には考えられない虫が家の中に入ってくると思うので虫に関する話があっても良かったと思います。(内地は虫がどうしてもダメな人が多い)
- 自然豊かな地域に住むから困難なこと、湿気や治安、夜の明るさなど、子育てや移住者コミュニティーについても知りたかった。
- 人口の構成（高齢者や子供、若者の割合）、台風の頻度など
- 地域の様子が（たとえば住宅街なのか山の中にぽつんと家がある感じなのか、道が整備されているのか、買い出しに行く名護市との比較など）視覚的にわかる情報が欲しかった

- 霧が実際の生活にどれくらい影響するのか（家具や洗濯物へのカビ・汚れなど）気になりました
- 地域行事の具体的な話（頻度、どれくらい関わる必要があるのか、など）があるとよいと思った
- 習い事について。
- Uターンされた方のお話は、説得力もあり楽しく見させていただきました。ただ、家や仕事の探し方などの移住者向けの情報がもう少し欲しかったです。
- 行事についてテロップなどで解説が必要かと思います。
- 地域で物事がどのように決められるのか、紹介があったらよかったです。また、動画の概要欄に、情報源サイトのリンクを貼っていただきたいです。
- Iターン・Jターンに対しての移住支援等についての情報
- 台風時の停電があるか、あれば復旧までの期間がどれくらいか。
- 村内の病院は分かったのですが、離島と違い近隣の市町村の病院も利用する事が出来るのかなと思います。それか、移動時間がかかって中々利用できないものなのか内容に欲しいです。
- 近隣の大きな街へはどれくらいの頻度でバスが出ているのか、もう少し台風の被害状況の情報があればいいなと思いました。
いきなり島暮らしはハードルが高いと感じる人にとって、東村が適した場所かどうか判断できる情報があると、より良いと感じました。

8-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。（大宜味村の動画）

- 街の映像
- 動画のお2人がお互いに補いつつエピソードを語ってくださっていて、とても良い方々をキャスティングされたと思いました。ネガティブになりそうな事も隠さず、ポジティブに切り替えられるような有益な情報ばかりのご紹介だったので、理想的な内容だと思います。よって、追加は不要です。
- 電波が入らないキャリアがあるのなら具体的に教えてほしかった。県外からの移住支援などの情報があればよいと思います。
- 困った事はないと言われていたので、他の移住者の方の意見も聞いてみたいです。（どこの土地でも良い事も悪い事もあると思います）
- 人口の構成（高齢者や子供、若者の割合）、話に出てきた場所などの風景などがあつたらもっと良かったと思います。
- ありません。凄く魅力的に感じました、初心者向けの情報などもありとても参考になりました。
- とにかく知りたい情報が全部まとまっていました。的を得ていて分かりやすくと

でもよかったです。

- 県内に知り合いがない場合の情報収集法
- 住民との交際。冠婚葬祭の時のお祝儀等の相場。
出生祝いや内祝いのお祝いをするとか、しないとか。
- 移住するために地元の方と繋いでもらうための方法も知りたい。
- 地域で物事がどのように決められるのか、紹介があったらよかったです。
また、動画の概要欄に、情報源サイトのリンクを貼っていただきたいです。
- 地域の行事等についてもっと知りたいと思いました。
- 地域の方々の大体の年齢層が分かるといいなと思いました。高齢者が多いのは想像できるので、若い世代がどれくらいなのか知れると。

9-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(北大東島の動画)

- 家族で移住した人の聞いた話しなど
- 観光できる場所の魅力や、島の食べ物の魅力をもっと知れたら良いと思いました。
- もっと島の暮らし（生活感）が分かる映像が見たかったです。
- 单身でも家族でも冒険心、DIY、サバイバルに長けている人にとっても魅力的な動画に仕上がっていると同時に、以前地域おこし協力隊をされていた方とのことで、島の状況や歴史に詳しく、紹介に盛り込んでいらっしゃるの、とてもよく仕上がった内容だと思います。60代のお父様の移住話も面白かったです。なので、特に追加内容は不要と思います。
- 保育園や子供を預けられるサービス・施設があるかの情報がほしい。子どもたちが遊べるような場所はあるのか。
- 女性が移住するのは厳しそうな環境に思えたので、実際に女性の移住者がいらっしゃるならそのお話も聞きたかったです。
- 育児の習い事や、島の学生たちが学校後、何をしているのかなど。
- もう少し風景等があったらなお良かったと思います。
- 单身移住の場合の恋愛事情が気になった
- 特にありません、色々凝縮して知れた気がします。
- 病院のお話のところで、産婦人科系の話があるとよかったです。産婦人科系は緊急を要することが多々あるため、島内の妊婦さんたちはどうしているのか、知りたい。
- 北大東島はサトウキビが有名で、行くのが大変な島というイメージでしたが、色々知ることができ、楽しそうで興味が湧きました。移住向け情報も分かりやすくいい動画だと思いました。

- 島の風景や様子のわかる動画
- すべての離島、市町村の動画で言えることは、災害時（台風含め）の避難場所等のお話が出てこなかった事です。移住してから考えれば良いのかも知れませんが。
- 地域で物事がどのように決められるのか、紹介があったらよかったです。また、動画の概要欄に、情報源サイトのリンクを貼っていただきたいです。
- 特にごさいません。知りたい情報が得られました。
- 台風時に停電する事があれば詳しい状況が分かればいいなと思います。
- 生活環境部分がもう少し詳しいといいなと。光熱費とか生活費の割合とか聞いてみたいです

8.6 PR 活動全般に関する自己評価

PR 活動ごとに、業務にあたった事務局自身による評価を以下にとりまとめた。

項	PR 活動	評価																												
1	PR 動画及び記事の制作・発信	<p>○ 動画・記事を合計 10 本以上制作するという仕様に対して、6 地域を対象に 18 本の動画・3 地域を対象に 3 本の記事、合計 21 本を制作した。</p> <p><動画></p> <p>○ 発信後、多いものでは 800 回以上の視聴がなされており、多くの移住検討者にコンテンツを届けることができた。</p> <p>(2025 年 3 月 4 日時点の視聴数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>1 本目</th> <th>2 本目</th> <th>3 本目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多良間村</td> <td>818</td> <td>488</td> <td>417</td> </tr> <tr> <td>大宜味村</td> <td>675</td> <td>292</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>東村</td> <td>413</td> <td>329</td> <td>294</td> </tr> <tr> <td>伊江村</td> <td>473</td> <td>289</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>北大東村</td> <td>365</td> <td>439</td> <td>376</td> </tr> <tr> <td>伊平屋村</td> <td>440</td> <td>249</td> <td>233</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 制作した動画に対する評価（情報提供、不安解消）も良好で、事業効果の高い取組であると判断できた。</p> <p>○ モニターツアー参加者のアンケートでは、移住を考えている際の情報源として「移住動画の視聴」と回答した人が最も多かったことから、需要が高い取り組みであると判断できた。</p>	地域	1 本目	2 本目	3 本目	多良間村	818	488	417	大宜味村	675	292	282	東村	413	329	294	伊江村	473	289	208	北大東村	365	439	376	伊平屋村	440	249	233
地域	1 本目	2 本目	3 本目																											
多良間村	818	488	417																											
大宜味村	675	292	282																											
東村	413	329	294																											
伊江村	473	289	208																											
北大東村	365	439	376																											
伊平屋村	440	249	233																											

		<p>○ 昨年度作成した動画の視聴数が順調に伸び続けていることから、長期的な事業効果があると判断できた。 (2024年3月15日→2025年2月21日時点の視聴数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>1本目</th> <th>2本目</th> <th>3本目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石垣市①</td> <td>2,073→3,761</td> <td>764→1,471</td> <td>612→1,040</td> </tr> <tr> <td>石垣市②</td> <td>837→1,356</td> <td>738→1,194</td> <td>366→577</td> </tr> <tr> <td>多良間村</td> <td>346→1,797</td> <td>561→1,734</td> <td>214→843</td> </tr> <tr> <td>大宜味村</td> <td>194→1,019</td> <td>113→331</td> <td>186→502</td> </tr> <tr> <td>粟国村</td> <td>290→1,447</td> <td>323→1,372</td> <td>141→521</td> </tr> <tr> <td>伊是名村</td> <td>1605→3,099</td> <td>1,123→1,859</td> <td>1,468→1,769</td> </tr> <tr> <td>久米島町</td> <td>402→3,360</td> <td>832→2,104</td> <td>260→737</td> </tr> </tbody> </table> <p><記事></p> <p>○ 不安や悩みを解消できる生活環境を中心とした有益な情報を提供することができた。</p> <p>○ 制作した記事に対する評価も良好で、事業効果の高い取組であると判断できた。</p> <p>○ 限られた字数の中で、幅広く深い情報を掲載することは難しいものの、仕事に関する具体的な職種、子育て環境などについては、更なる充実が望まれた。</p>	地域	1本目	2本目	3本目	石垣市①	2,073→3,761	764→1,471	612→1,040	石垣市②	837→1,356	738→1,194	366→577	多良間村	346→1,797	561→1,734	214→843	大宜味村	194→1,019	113→331	186→502	粟国村	290→1,447	323→1,372	141→521	伊是名村	1605→3,099	1,123→1,859	1,468→1,769	久米島町	402→3,360	832→2,104	260→737
地域	1本目	2本目	3本目																															
石垣市①	2,073→3,761	764→1,471	612→1,040																															
石垣市②	837→1,356	738→1,194	366→577																															
多良間村	346→1,797	561→1,734	214→843																															
大宜味村	194→1,019	113→331	186→502																															
粟国村	290→1,447	323→1,372	141→521																															
伊是名村	1605→3,099	1,123→1,859	1,468→1,769																															
久米島町	402→3,360	832→2,104	260→737																															
2	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等	<p>○ オンライン学習塾の記事制作においては、東村の利用者をモデルとし、高齢者見守りの記事制作については、大宜味村の利用者をモデルとした。</p> <p>○ 高齢者見守りのサービス提供地域の実態を鑑み、大宜味村にサービス補助事業者と共同で広報誌掲載の協力を仰いだ。</p> <p>○ 高齢者見守りサービスについては、大宜味村広報誌に掲載された。</p>																																
3	モニターツアーの実施	<p>○ モニターツアーの参加者の希望に応じて訪問先を調整するオーダーメイド型のツアーを3地域で実施し、石垣島=2組2名、伊是名島=1組1名、多良間島=1組2名、大宜味村=5組7名の参加があった。なお、伊是名島には合計で3組の申込があったが、2組キャンセルとなったため、周知や実施時期等が課題となった。</p> <p>○ 参加者アンケートを通じてツアーの効果进行调查したところ、参加して良かったか・ガイドの説明・得られた</p>																																

		情報、の全ての項目について、満点の評価が示された。また、今回のツアーを通じて、移住（または二地域居住）への意欲が高まったと感じた参加者は全体の83.4%（10名）にのぼった。その内訳は、「とても高まった」が16.7%（2名）、「高まった」が66.7%（8名）であり、移住（二地域居住）への関心の高まりが示された。これにより、ツアーの事業効果が確認できた。
4	相談・受入体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○ セキュリティ面でも優れた Google 社のフォームを受付とし、誰でも気軽に使用できるメールを使った相談を選定した。 ○ 相談件数は、40件あり事業効果を確認することができた。
5	ワークショップ等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの地域を対象とした合同のワークショップをオンラインで開催し、47名（事務局4名を含む）の参加があった。 ○ 参加者による評価も良好で、先輩移住検討者からの有益な情報提供に留まらず、地域の関係者も交えた意見交換を実現できた。

さらに、事業全体として、以下の評価と課題をまとめた。

事業全体への評価	
<p>事業に求められる KPI の達成に向けた取組としての 5 つの PR 活動について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業の仕様を満たすかたちで、事業開始当初に予定された活動を全て執り行うことができた。 ○ 本章における効果検証を通じて、KPI 達成に向けた取組として、先輩移住者や活動参加者から高い評価を得ることができた。 	

8.7 今後の移住促進 PR 活動のあり方についての検討

本年度の事業推進を通じて、今後の移住促進 PR 活動に関し、検討すべき課題と考えられる事項を以下にまとめた。

項	PR 活動	課題
1	PR 動画及び記事の制作・発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動画については子育て環境に関する情報を充実して欲しいというリクエストがあり、記事については子育て環境に加えて、どのような職種の仕事の募集があるかななどの情報をもっと充実させて欲しいという意見があり、これらに応える必要がある。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 動画で取り上げた情報へのリンクを説明欄で紹介するなど情報提供に工夫が必要である。 ○ 動画に使用する素材を充実させることによって、地域の情報をよりビジュアルに伝える必要がある。
2	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習塾インタビュー協力者の選定に時間がかかった。早いタイミングで協力者を募り、記事を制作し、周知活動を早めに実施する必要がある。
3	モニターツアーの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ ツアーを集合型ではなく、オーダーメイド型で実施する方が、参加者にとって利便性・満足度が高く、事業効果も高まると考えられるため、オーダーメイド型での実施を継続すべきと考える。 ○ 昨年度より早い時期からツアーを開始できたが、有料での広告配信を早いタイミングで実施する必要がある。
4	相談・受入体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先輩移住者によるオンライン相談は、他の PR 活動（PR 動画・記事、モニターツアー、ワークショップ等）と連動したかたちで活性化が期待できる。 ○ メール相談の受付のみをして、質問をしない方が多数いたため、来年度は相談受付時に同時に質問もできるような体制を初めから取る必要がある。
5	ワークショップ等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークショップでの先輩移住者からの講演や、意見交換・質疑応答は好評であった。 ○ 三地域合同の形でワークショップを実施したが、地域別々で実施するよりも集客力が高く、今後も同様な開催の仕方を採用すべきと考える。

さらに、事業全体として、以下の課題をまとめた。

事業全体としての課題
<p>今年度も、二地域居住・移住促進を重点的に行う対象地域との調整業務に時間と労力を要した。より効率的な調整活動に努めるとともに、事業期間開始とともに、地域との調整を早めに開始する必要がある。</p> <p>そして、早いタイミングで効果的な周知をして、集客をする必要がある。</p>

第9章 おわりに

令和6年度離島・過疎地域づくり DX 促進による移住定住 PR 等事業では、沖縄県の離島・過疎地域における移住・定住促進を目的とし、デジタル技術を活用した PR 活動や移住者支援策を展開した。二地域居住者を含む関係人口の創出をめざした具体的施策が実施され、モニターツアーやオンライン相談窓口、PR 動画・記事の制作・発信を通じて、移住希望者に対する情報提供と支援を行った。

モニターツアーでは、オーダーメイド型の実施形式を採用し、参加者の利便性と満足度を高める工夫を行った。アンケート結果では、参加者の 83.4%が二地域居住や移住への関心が高まったと回答し、事業の有効性が確認された。また、オンライン相談窓口の活用により、移住前の疑問や不安を解消する場を提供し、二拠点居住や移住に前向きな気持ちの醸成の一助となった。

さらに、PR 活動においては、先輩移住者の体験談を活用した動画や記事を制作し、移住を検討する人々に対し、実際の暮らしに基づいた情報を提供した。動画の視聴回数は、PR 開始後まもなく数百回を超えるものが多く、事業期間終了後も年々増加し、数千回の視聴数にまで達するものもあり、移住を検討する上での重要な情報源となっていることが示された。

本事業を通じて得られた知見をもとに、取組の改善をはかりながら、移住促進策のさらなる工夫が必要であろう。引き続き、デジタル技術を活用した PR 活動と移住支援策を推進し、沖縄県の離島・過疎地域の活性化に貢献していくことが期待される。

